村山 渉
Wataru Murayama
デザート・コーラル
4

BLADE COMICS

デザート・コーラル 4

村山
Wataru Murayama
渉

Mag GARDEN

9784861270024

ISBN4-86127-002-2

C9979 ¥552E

1929979005528

雑誌53930-78
定価：本体552円 十税
マッグガーデン

Wataru Murayama

村山 渉

幾度と繰り返される輪廻転生のなかで、
（もしあるとするならば）
一度くらいは誰もが、
みじんことか微生物系だったことが、
あるんじゃないのかなぁ、と。
4巻です。

Comment

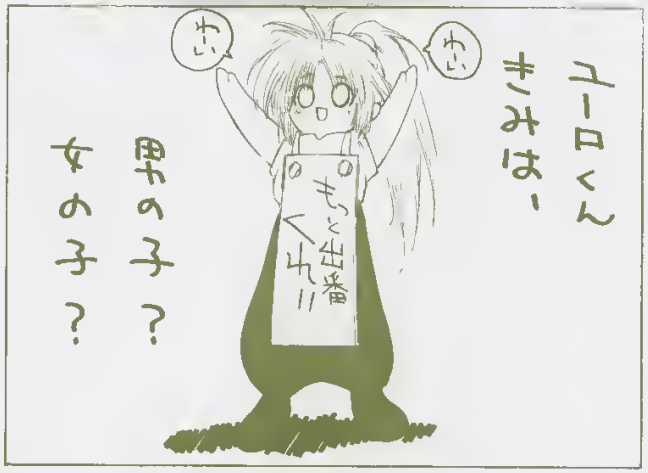
Ipsyron & Revenus

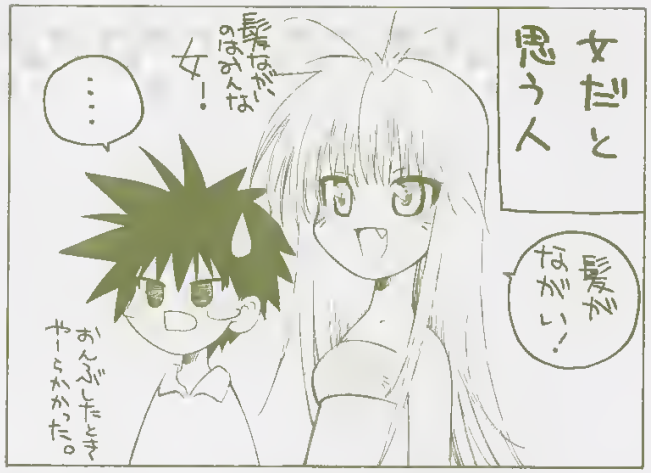
村山渉

Wataru Murayama

デザート・コーラル

4





BLADE COMICS

ユーロコーラル デザート・コーラル 4

村山 渉

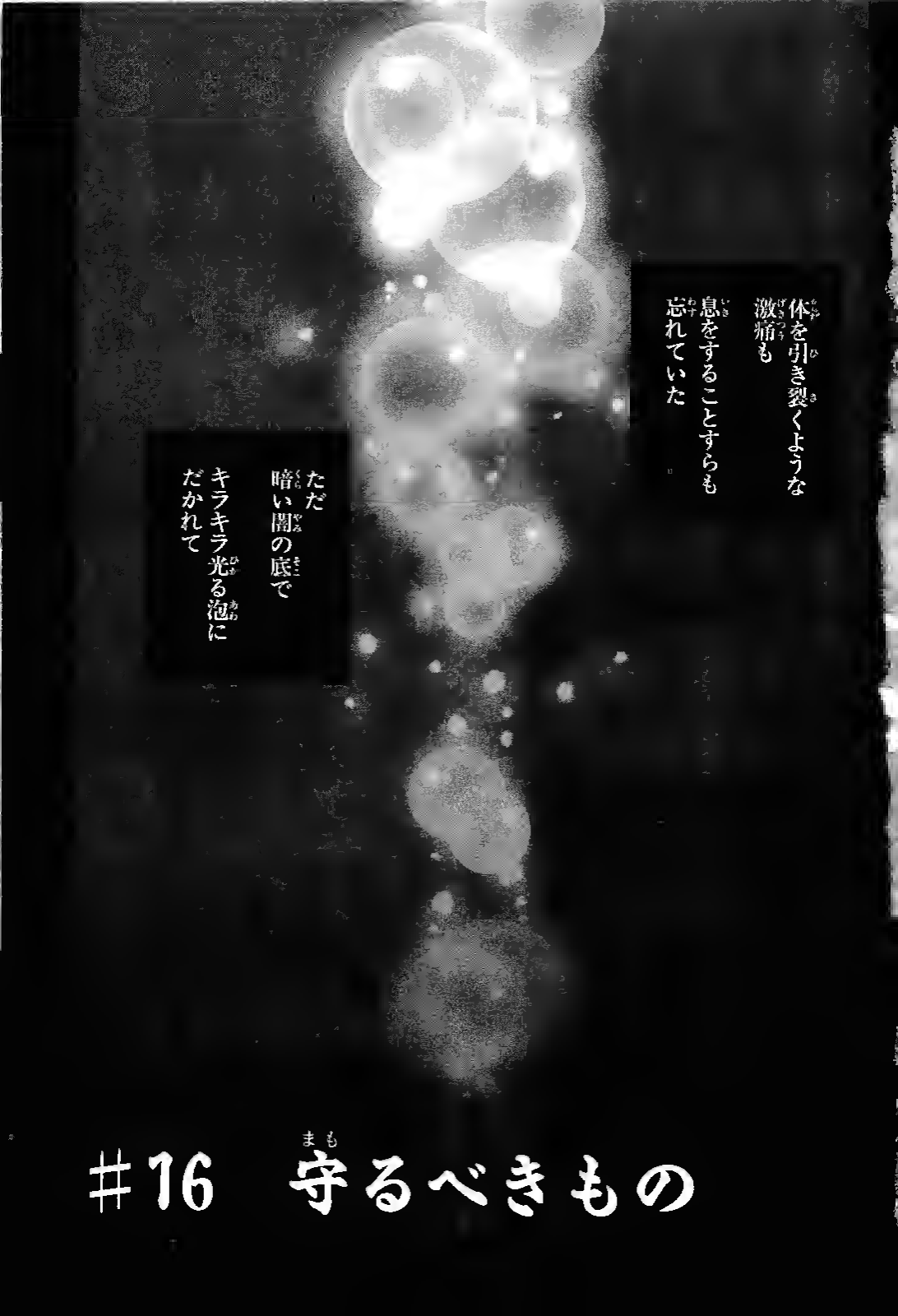
Wataru Murayama

Mag GARDEN

Desert
村山渉
デザート・コーラル
4

CONTENTS

#16 守るべきもの ——— 3
#17 死 ——— 39
#18 Old Desert Coral ——— 73
#19 Calling ——— 109
#20 Discharge ——— 143



#16　守るべきもの

ゆらゆらゆれる
それは…
…さんご？
ここは…
海の底……？

声が出ない…

ルシア
やっと見つけた…
もう会えないかもって
気がしたけど
やっぱりまた会えたな

……
おかしいな
声が出ない…

でもさ
心のどこかで絶対
また会えるって
思ってたよ

だってさ
俺とルシアは
つながってるん
だから

この広い砂漠で
この広い海の底で
はぐれたらふつー
お互い見つけあうなんて
不可能に近いぞ

だから…
しょうがないんだよな

おまえがどんなムチャしようとしても
俺はついていくしかないんだよ

いいんだ それでだって俺は…

さっきはごめんなおまえはそれでいいんだよな

どんなムチャしようとみんなおまえについていくよ

レビナスもイプシロンもユーロもカミューも…
みんなおまえのこと大好きだからさ…

くそ…
声が
でない…

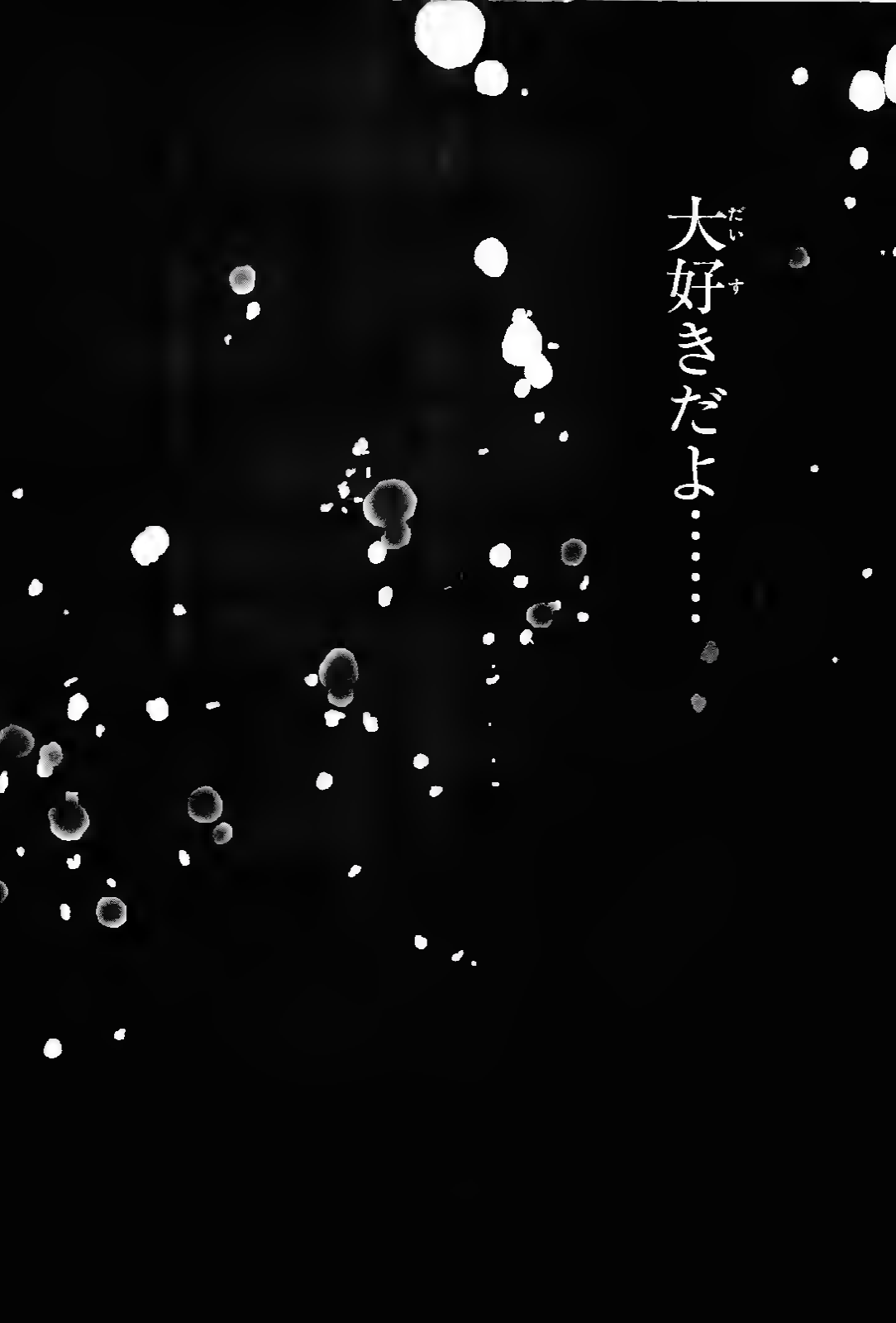
ルシア…

なあ
なんでいつも
かんじんな
ときに…

こんなに近くに
いるのに
なんでいつもいつも
俺の声は届かない
……？

なあ ルシア
たとえ…

たとえ幻でも——


大好きだよ……

よかった…
ここが海の
底で…
涙も泡となって消える

ナオト…

あーあ
砂まみれだ

僕は
バカだよ

なんの役にも
たたないし…

いつもみんなの
足をひっぱって
ばかりでさ…

結局 ルシアを
見つけられず…

家に戻っても
誰もいなかった…

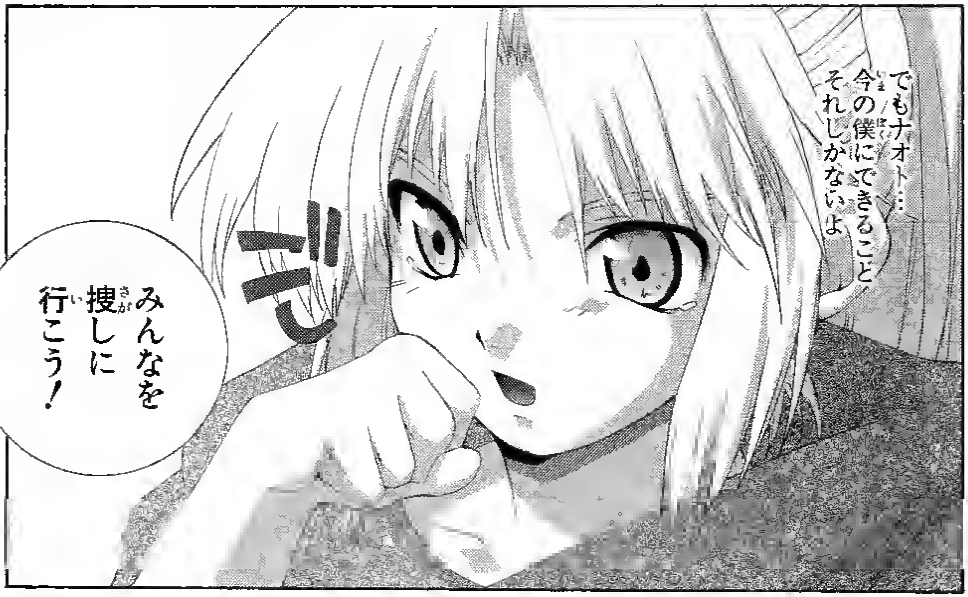
クゥゥ

きっとなんか
あったんだ…
あの後…

みんな
バラバラだ…

「もし俺が
いなくなったとしても」

「寂しかったりなんか
するなよな」



お願い！
みんなの居場所
おしえて！
ガッ
ガッ
ガッ

ロータスは…
この世界の破壊を望んでいたっていうのか…？
ロータスはこの世界に存在するもの全て…
妹を除く全てを憎んでいた…
とてもそんなことをするやつとは…
なんで
まさか
ルシアも…？

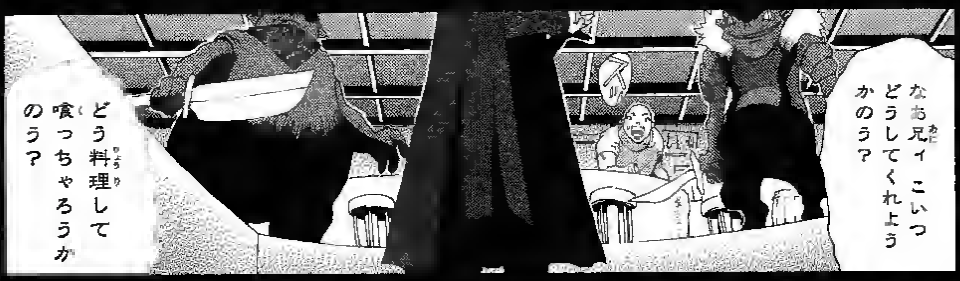
俺のことも……
そういうやつだった

ひッ

ガラン
ガラン

ケンカだケンカ！
だから言っただろあの三兄弟がいるから他いこうって!!
バーカいい見世物が始まったんじゃねーか！

こォの白くて
ひょろっちいガキがッ
俺たちにかなうと
思っとんのかァ!?
……


なぁ兄ィ こいつ
どうしてくれよう
かのう?
どう料理して
喰っちゃろうか
のう?

まず
スラッシュ
おまえら
三人
殺す

かわいそうに
あの少年
まだ若いのに
ね…
よりによって
あの三兄弟に
目をつけられる
とはね…
……
さあて 今日は
どんな惨劇が
見られるかねぇ…
ひひひ
おおい
…
もしかして
あの少年…
そ
そうだ
まちがい
ない…!
はあ?
「死神
剣士」…!!
銀髪に
黒のマント
…
冷たい目を
した美少年…
ならやばいじゃ
ねえかよ
俺たちまで
とばっちりで
殺されちまう
へえ……
うわさの「死神剣士」
って
あいつのことか…
凶悪な殺人を
くり返してる
っていう

だが俺がきいたうわさじゃ美少年てのは同じだが
「死神剣士」は朱の混ざった長い…
……
ふふふら
ひしょーねん♡
!!!
ふらぃ
ニヤ
ぎゃあ
あッ
!?
……！
なッ
なんだぁ？

あッ
あッ
あにいィイイイイッ!!?
しゅ…
瞬殺…
ひっ
ヤら
……ッ

ドサッ
ドサッ
……
……
おぉぉ
おぉぉ

!!?
おおおおお
おお

いやあ
すばらしいな
キミ！
どうだい
うちで…
！
や…？
……
ひぎゃあああッ
3秒で
逃げろ
こっから…
逃げおくれた
やつは殺す
3
ズタッ

2
1
おまえも殺されたいのか

やあ
はじめまして
僕の名は
ロータス

へえ…さすが
うわさされる
程のことはある
美少年だ
このまま成長して
大人になったら
もっとキレイに
なるんだろうね

…ほんとにキレイな瞳をしてるね
この世界の全てを憎んでいる……
そんな瞳だ

君は僕と
同じだ

それが俺とロータスとの出会い
その後 俺たちはロータスと共に暮らすようになった……
ロータスと出会ってから俺は少しずつ変わっていくことができた

ロータス
ルナ知らないか？
今朝からずっと
見かけないんだ
けど…
……
君は
僕と同じ
…
だけど
ひとつだけ
ちがう
ロータス？
なんだか
わかるかい？
その髪かざり…
……

今は手に届かないけれど 僕には守るべきものがあるってこと
君にはそれがない
殺した……？
あの娘のことは忘れなよ 君のことを憎んでいた
君に近づいていつかすきをみて殺す気でいたんだ
君は記憶にないかもしれないけどあの娘の親かなんか殺しちゃったんじゃないか？

やっぱり君は
僕と同じだね
どういう
意味で…？
そろそろ
おなかすいて
きたね
……
その日から
俺は人を
殺すのを
やめた

イブは
ここで
待ってて
くれ
僕とナオト
だけで行く
俺も
行く
エルフィスの
屋敷に忍び
こむんだ 人数は
少ない方がいい
それに君には
大事な役目が
あるんだからね…
夜が明けるころ
ナオトがここに
戻ってくる
コーラルを
連れてね…

おまえは？

僕は……

ちょっと一暴れしてからさ

一暴れしてから…
ここに戻ってくるのか？

それとも
それで力を使い果たして
死ぬつもりか？

知ってるんだ 俺は
お前の寿命のこと

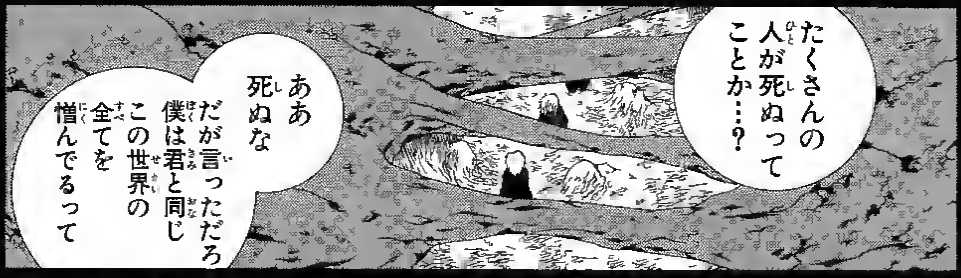
もう一度言う
夜が明けるころ
ナオトがコーラルを
連れてここに戻って
くるから…

なんかあった
ときはイブ
君がコーラルを
守ってくれ

なんかって
なんだ

やっぱり
そういうこと
なんだな…

飛竜で
できるだけ
遠くへ
コーラルを
守ることを
約束してくれ
イプシロン
僕は
このオルゴスを
崩壊させる


たくさんの
人が死ぬって
ことか…？
ああ
死ぬな
だが言っただろ
僕は君と同じ
この世界の
全てを
憎んでるって

俺は
……
俺に
だって…
おまえとは
ちがう…！

俺は…
俺にだって
守るべきものが
……

「僕には守るべき
ものがある」
「俺には
それがない…」

それが俺がきいたロータスの最後の言葉

その後…

朝になっても
二人は帰ってこない…

ロータスの予告した
オルゴスの崩壊も
なく…

日が高く昇り
昼を過ぎて……

もうあきらめて
俺はここで
くたばろうかと
思ったころ

猫耳の少年が
ロータスによく
似た少女を
かかえて

俺の前に
現れた

そして
俺は悟った

ロータスは
もう…

ああ…
思い出せない
んだ…けど
……
コーラルという
名前を思い出し
てから
少しずつ
何か見えてきた
気がする……
あの日
俺は
……
この手で
本当にロータスを
殺した…?
レビ
俺は…
頭では
わかってるん
だ…
でも
…
……
まだ
ロータスは
死んでない
んじゃない
かって…
レビナス!
イプシロン!
!

わーんっ
ぴょんっ
ユーロ！
……
やっと会えたー！
ナデナデ
これでナオトとルシア以外デザートコーラルはそろったな
え？
おいカミュー
カミュー
カミュー
見つかった
ほんとーは
もうあんたたちと顔あわすのやめようと思ってたのに…

ナオトとの記憶を全て消去する。
その仕事を終えたらさっさと去ろうことに
しようと思ってたのに
……
カミュー…
ナオトは…？
ナオトはどうしたの…？
ナオトは殺したわ
私が

#17 死

ほんとよ
うそだッ
だって…
だって僕(ぼく)たち
は…!!
仲間(なかま)じゃ
なかった
の…!?
!
く…ッ

どっ
わあッ
あ…
カミュー…
なんで？
スキン
スキン
スキン
……
……
カミュー
変な
幻術は
やめろよ
？

おまえ すごいけが してんじゃ ねーか？
！
見た目は ごまかせても 血のにおいは 消せてない
カミュー自身の 血のにおいと もうひとつ… ナオトの血の においが……
ぽたっ
まったく…
はあ…
よけいな こと 言うんじゃ ないわよ レビ…

とにかく
ザッ
俺たちは
ルシアを
探しに行く
ほら
カミュー
な…
おまえ
立ちあがるのも
しんどそうな
顔してるから
な
一度おれに
おぶされよ
走竜に
乗せて
やっから
私…
私は…
あの娘には
会えない…！

さっき気づいたの…
私はただ
ロータスの影を
あの娘に重ねていた
だけだったこと…
今まで
ずっと…

「カミュー！」

ロータスとの
約束なんだ
コーラルを
守ると
決めたのは

……
俺も
そうだ

え…？

うその言葉
うその笑顔
うそはっかり
だったあいつが
最後に言った
唯一
真実の
言葉
「約束してくれ コーラルを……」
だから
守りたい
んだ
真実だったと
思いたいだけか
俺は…
……
俺の中にも
ロータスは
いる…

あの夜
現れたのがロータスでなく
他の誰かだったなら

ルシアを逃がすため
きっともっと
容赦なく殺せていた

「君は……」

あのときの言葉…
あんなことを言われたのは
初めてだったんだ

それなのに俺は

殺した…

思い出そうとすれば
するほど違和感が
強くなる…

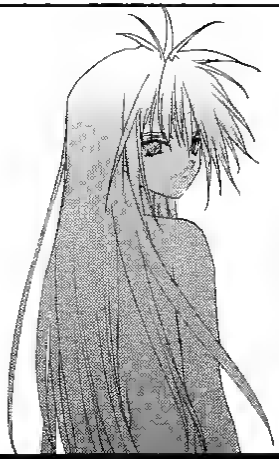
ロータスはまだ…

生きてるんじゃないか…

殺した…？
剣をふりあげて
そして…
その後の記憶は……

生きてる…？

……
ふふ…
そんなわけないか…
あれから何年経ってるんだ…仮にあそこで俺が殺してないとしてもルカヴィフェイトの寿命ならもうとっくに尽きている
あのこは人の心の中に入るのが得意なのよ
死んでもなお残された者の心の中で生き続けてるのね



この果てない
砂漠の民 サンドダストは
その命が終わると

その肉体 精神 魂ともに
砂にとけ 消え去るという
……
だけど…

ス
おいカミュー
変な術は
もうやめろ
よ
ビク
!?
いっ
おっと
きゃあッ
こらあばれんナ
ナオトのことは
とりあえず後だっ
今はとにかく
ルシアを探す!
だいたいナオトは
ルシアの召喚獣なん
だから ナ!
おまえ一人で
苦しむのは
やめろ!
俺たちは一応
仲間なんだ
からな
……
そ
そんな
こと…
ロータスのときと
同じ…
やっぱり
消せない……
言われなく
たって
わかってる
わよ…
キリ

そそそ
そんな……
もう
新しい魔源石
でもダメだな
なんとか
して～～～
本体そのものの
魔力がもう
尽きようとして
いる
これはもう
どうしようも
ない
なにこん…
おてあげ
ね
スレイディス
さま～～～っ
おてあげ
だな

スレイディスさまのおちからで！なんとか！
ははは
その姿もなかなかかわいいぞ
そんなこと言ってないで！このままじゃ僕死んじゃうヨ！
ふにゃふにゃ
そうよスレイディス！
早く時空竜見つけてなんとかしてちょうだい！
このオルゴス上層部の時の流れがおかしくなって どれくらいになると思ってんの？
半永久的な命を持つと言われたエルフィスの生き残りはもう私たちしかいないのよ!?
あなたも私も石化がだいぶ進んでるわ
このままじゃ死ぬのよ？わかってるの？
いいじゃないかよ死んだって
死なない生命の方がおかしいだろう

死ぬのはやだ！
そうよ！
死ぬなんてごめんだわ!!
ナニこっち
あ…
ぼろっ
今のショックで本体の方も逝ったみたいだな
いえ
私はこんなふうにはなりたくないわ
じゃあ下に降りればいいだろ
呪いがかかっていいのはここだけだ
下で立派に生きてるやつもいる

下に!?
オルゴス最下層に降りろっていうの!?冗談じゃないわ!!
あんな虫ケラと同じ世界で暮らさなきゃいけないなんてそんなの死んだ方がましだわ!!
ははは…
まあその程度のものなのさ
ズズ
?
俺たちエルフィスの命の認識っていうものは
なにを言ってるのスレイディス?
デューラ
俺たちエルフィスは
死んでいなかったが生きてもいなかった

おまえや
サーディスは
サンドダストを
毛嫌いしていたが
俺は
なかなか好き
だった
短い命でも
ちゃんと生きて
いた
じゃあ
あなたは
降りれば
いいでしょう
一人で
…もうすぐ
俺たちの
命も終わる
？
サンドダストは
一生のうちに
一度は言う言葉が
あるんだ
できること
なら
シルディス…
おまえの
サンドダスト
ルカヴィフェイトの
娘の最期も見届け
たかったんだがな…
ゴト

「愛(あい)しているよ」
デューラ

ん…
どうしたんだ
俺(おれ)は……？

ルシアは……？
ここはどこだ……？
やあ♪
！

また
おまえかよ
ミイ
とんっ
最初にはっきり
させとこうぜ
ここは現実世界か
妄想世界か
どっちだ？
どちらでも
ない
ここは
時空の狭間
さ
？
よく
わか
らん…
で おまえは
いったい何の
用だよ
それに
ちさとの
変すんの
いいかげん
やめろ！
別に用なんて
ないさ
ちょっと
興味があった
だけ
君くらいのものさ
時空者の予言に
逆らってくれる
のは

よかったね
君の想像力の限界が〝大量出血〟で
……？
よかったね
意識だけでもルシアに会えて
な
なに言ってんだよ俺は…
俺の腕…足…
傷が消えてる…
どうなったんだ…？
俺は…
服も変わってるし

死んでいるのに
気がつかなかった
だけだ
君は
……
……死？

死んだのか俺…!?
そ…んな…
死…ッ…て…
あれだけの力を持ちながら
君はカミューに殺されたのさ
……なら…
なら！
早く現実世界に戻せよ!!
本当に死んだんならさあ!!

オルゴスの世界で死んだら戻れるって言っただろ!?
俺はまだ目覚めてないってことだ
俺はまだ夢を見ていろ……
そう問答無用でいやでも元の世界に戻るハズなんだけど
本当なら
君の魂は強くオルゴスの世界に縛られている
ポ
ス
ス
ス…
ポ

じゃあ…！
……
まだオルゴスに戻れるってことだな……!?
？
…戻ってどうする？
君の体はもうなくなってしまった
両手 両足 内臓 ぐちゃぐちゃ
それでも自分で無意識になくなったそれらを実体化させながら戦ってたみたいだけど
精神がぬけた今ではもう その体はあとかたなく消えてなくなってしまった…
もう戻る体はない
意識だけで徘徊するだけさ
以前のようにね
言っておくけど意識だけでオルゴスに戻れても感じるのはひどい孤独だけさ
仲間たちはみんな自分の存在に気づいてくれない忘れていくだけさ

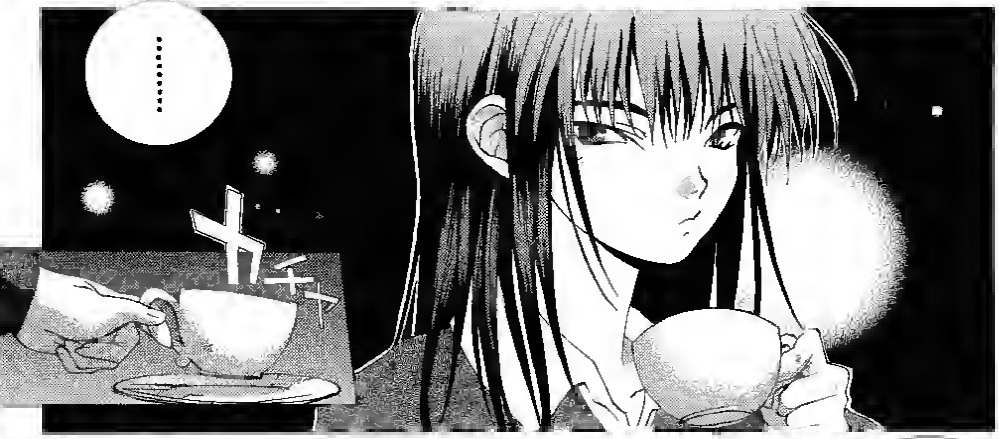
俺の世界なら…

ナンデモアリの世界ならイメージできさえすれば…!!

ムリだよ
なんで！
出来なくもないけど…
君の力だけじゃあムリだ
この意味がわかるかい
……
もう一度だけ……きいていいか？
ずっと心にあった疑問なんだ…

ここは…
おまえも含めて
あのオルゴスの
世界は

俺のただの
妄想なのか？
現実なのか？
どっち
なんだ


……
カチャ

どうしたらいい…
俺…

♪

コト…
じゃあ行こっか
答えを探しに

そんなの知らない♪
にっ
ぎゅ!!

君の未完成の過去へ
ゴゴゴゴ
君の背中ちょっと貸してね♪
は？
!?
うわッ

光……！
あのときと…
ルシアが俺を召喚したときと
同じ光…!!
おちる――――
!!!

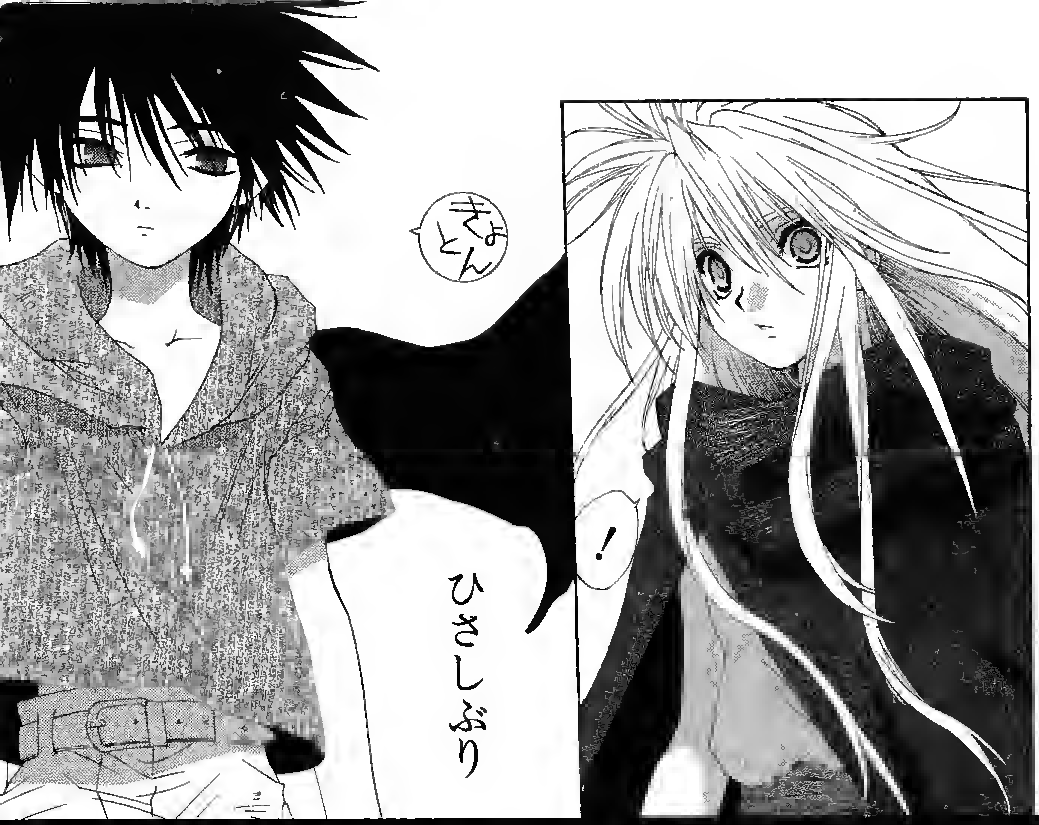
ドン
あなたが時空竜の化身…
この世界の時空を司る神――…

#18
Old Desert Coral

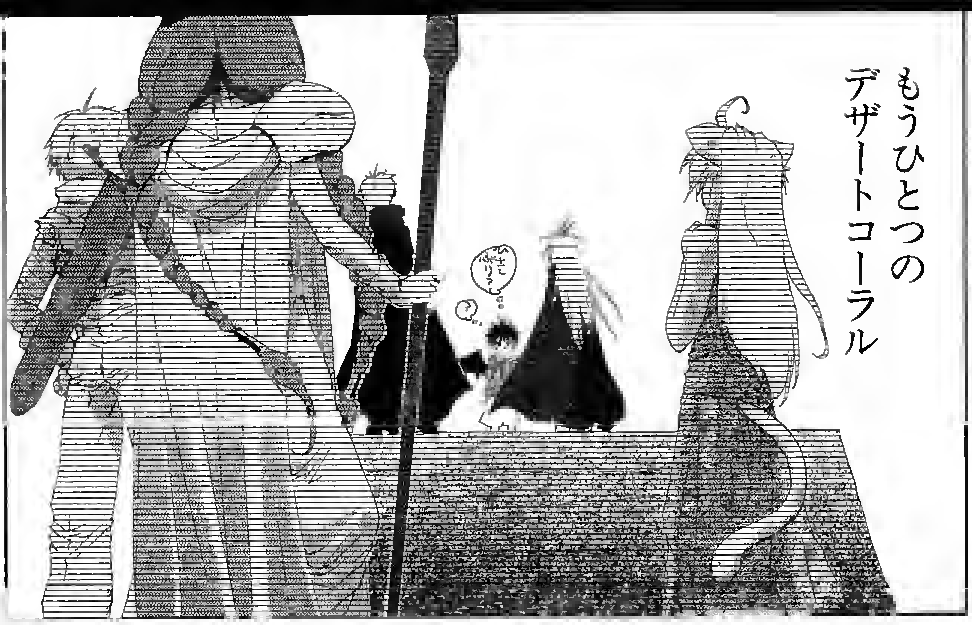
きょと
?

ここは……

時空竜の化身
この世界の時空を
司る神よ
そうだ……
我の名は…
……
俺は知ってる
ロータス



ここは 俺が初めてロータスと出会った瞬間



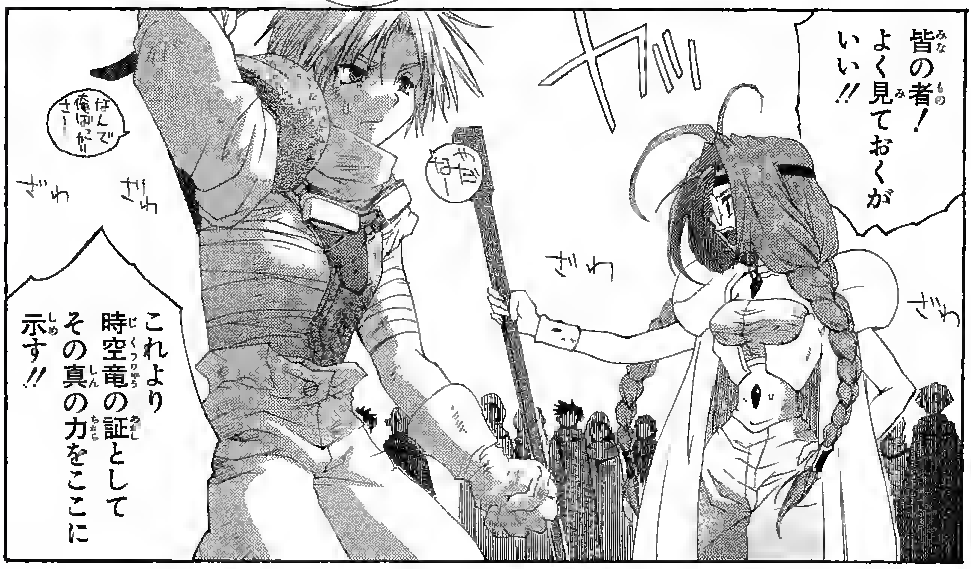
俺たちの名前…！
レクリア
……
イプシロン
アルト
カーラ
……！

――6年前のオルゴス

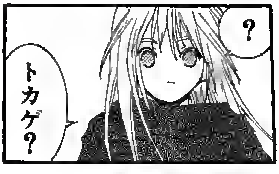
おい…
カーラ！神サマに失礼だゾ！
私たちの名を言いあてたからといってそれだけではまだ本物の時空竜である証拠にはなりません

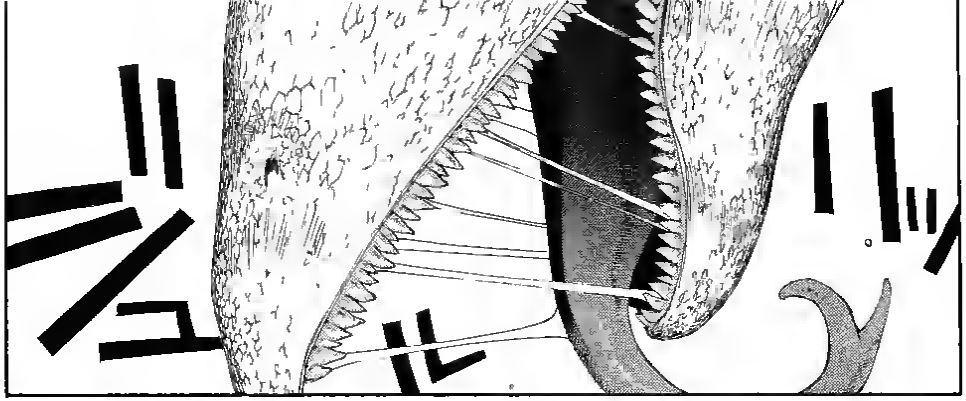
本物の時空竜であるならば！
私どもの攻撃など赤子の手をひねるごとく簡単にかわされましょう
まつ
見たカンジどう見たって子供……
それっぽい翼は持ってるケド
ぼーーっ
……
あんまり説得力ない姿だわここはひとつ…
おいカーラ！私どもっておい！
決まってんでしょーがあんたも攻撃すんの
そんなことしてばちあたるぞッ
アホか あんなの神なわけあるか！
ざわ
ざわ
ざわ
いい？
わざとこっちがやられるのよそうすればあんなのでもそれなりに見える
……
信者どもの信仰心UP！
信者ども
ニヤリ

うーん…
あれ？俺なに考えてたんだっけ
なんだっけ…あれ…？
いつもみたく夢みてたんじゃなかったっけ？
いくぞアルト！
おう
うん
それにしてもリアルすぎる…？


皆の者！よく見ておくがいい!!
これより時空竜の証としてその真の力をここに示す!!
なんで俺ゆかさー
やだもー
ざわ
ざわ
ざわ

わだんだん思い出してきた…
そーだ俺学校の遠足でエー
ちさとと遊んでて途中で眠っちゃったんだったそれで…えーと…!?
大トカゲ？


？
トカゲ？


ゴッ
ゴッ
ゴッ

とりあえず先トカゲなんとかするわよ!!
ドカ
う…… 頭がいたい……
なんだかよくわからないけどとにかく俺…逃げなきゃ…
だれもいない所へ…
これ…いつもの夢じゃないッ
現実…
たた
お!
わあッ
ズラッ
ズラッ
キエー
!!
…ッ
っ…

なッ
なにすんだよ
おまえッ
いきなり!!?
くそ今まで半分ねぼけてたけどこれで完全に目ェさめた!!
時空竜の神サマ!
あの大トカゲから我々をおたすけ下サイ!
はあ!?
あ!
なんだよ神サマって!?
待て!
だれが待つかばーか!
やあッ
!!!

…ッ
どさっ
いってッ
いって〜〜ッ!!
てッ
てめ――ッ
!
時空竜(じくうりゅう)の神(かみ)よ
我(われ)らをこの悪夢(あくむ)から救(すく)いたまえ

なんなんだ 時空竜って！ 神サマって！
俺は そんなんじゃ ないッ
崎ナオト！ ふつーの 小学生だッ…
じゃあ ナオト
でないと？
ドクン
ドクン
でないと…
あいつを やっつけて その力を皆に 示してくれ
君を殺すよ

ははは
はッ
なんだ
それ！
！
くらっ
わッ
とっ
……
ぽちゃ
へんっ
さっきの
しかえし
だ！

くす…
君なら簡単に
やっつけられる
よ ナオト…
ふふ…そういう
ふうに僕が設定
したんだから

あ…
また
くら
今日はおかしい
んだ 俺…
頭が
ぐるぐる
する…
うん
スウ
知ってるよ
全部…

そう…俺は知っている

!

絶対俺の剣じゃムリ
ほらもっと当前！当前！行け！
鬼

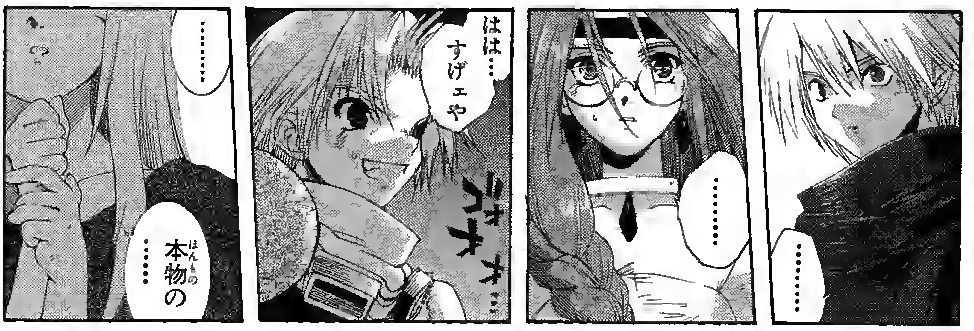
ズリュリュリュ
ヒィー

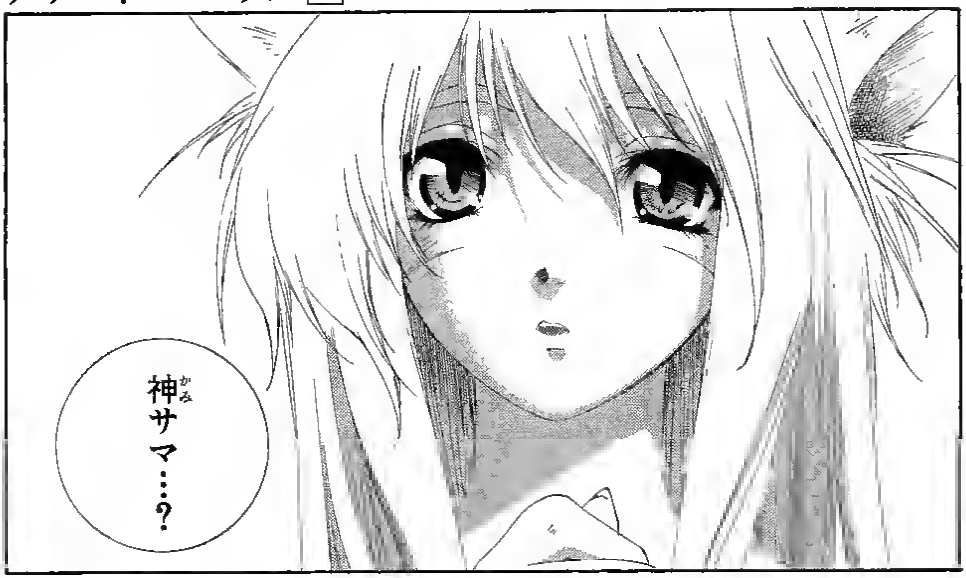
カーラ！
アルト！
？
ヒィ
ちょっとどいてて！

!?
地面が…!!
なんだッ…!?
波うっている――!?
ゴゴゴゴゴゴ
ゴゴゴゴゴゴ
ゴゴゴゴゴゴ

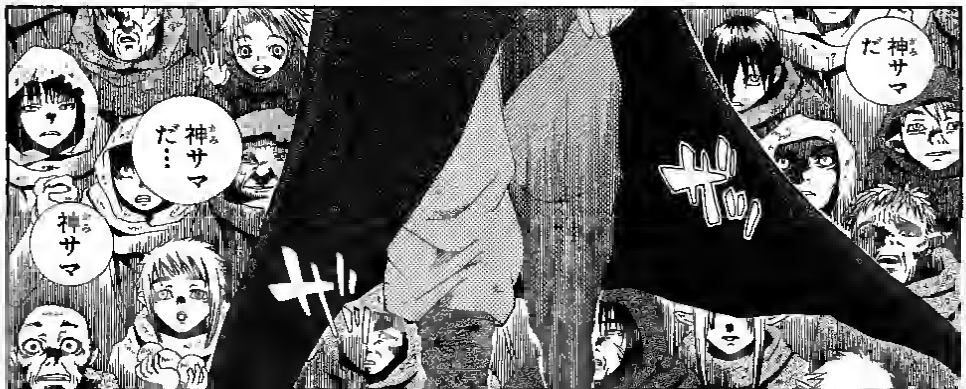
な……
!?わアッ
ドド
!!

ついでに
焼トカゲに
しちゃおう!!
トカゲ
ははははッ
ゴオオオオ
オオオ


……
……
……
はは…
すげェや
ゴオオオ
……
本物の


神サマ…？

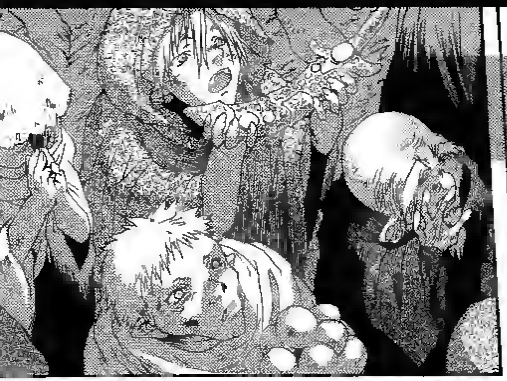
……
神サマだ…


神サマだ
神サマだ…
神サマ

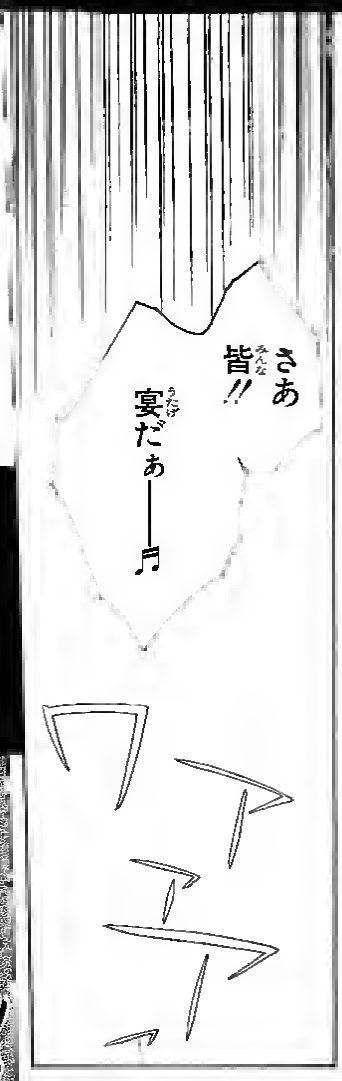
待ってたんだ
ずっと……
ナオト
君と出会う
日を
そう これは
俺もだよ
ロータス
俺が小学生のころに
見ていた夢の中の物語……

砂漠の民サンドダスト
魔の民エルフィスの住む

オルゴスという名の一つの世界



そのオルゴスの最下層地区の一部



ある教えをひろめている変な集団
デザートコーラル

そのリーダーであるロータスに僕は
時空竜の神サマとして召喚された

ロータスが言うには――…

この世界は神サマの見ている夢であるらしい

時空竜の神サマ

どうか
いい夢
を…

そう それはそのとおり
これは俺が見ている夢の中の物語……

プス
プス
プス
先ほどは失礼いたしましたナオト様
あっ
えと
ぐっ
ぐぐぐ
ぐぐぐ
わし
ぐ!!
ぐ!!
ぐ!!

あの…
それに
ナオトで
いいよ
〝様〟つけ
なくて
いやっ
そうだ
それにしても
こんな子供
ボ…
…？
なはは
とりあえず
自己紹介
くらい
しとこうか
ナオトは
全部知ってる
のかもしれない
けどね
僕たち
五人で
〝デザートコーラル〟
って名のってる
みんな仲間さ
家族みたいな
ものだよ
知ってる
なんでか
知らない
けど
最初の
デザートコーラル

では
まず
私から
ぽん
私の名は
カーラ
元サラムドの
神官です
わけあって
サラムダラから
離れましたの
先ほどの
炎の術
お見事
でしたわ
サラムドの
高位神官でも
あれ程の威力を
出せる者はそう
いませんわ
あの人に
なんか
似てる…
誰だっけ
!?
ぼー
このガキ
人の話
ちゃんと聞いて
んのかしら?
そして私が
デザートコーラルに
いるわけ!
それは!!
この地から
エルフィスの邪陽を
全て消滅させる
ため!!
正義のため
戦うのが私の
使命!!
レクリア!!
どーみても
悪っぽい
んだけど
ニヤ…
じゃ
次
あたし
おっ
人の話は
最後まで
聞けっ
あ
えっ
ミニ!
あたしは
レクリア♡

みんなみたく戦うのは苦手かなー
ぽわぽわ
あたしと同じ種族の仲間がたくさんエルフィスに捕まえられて奴隷として働かされているの
でもごはんつくるのはまかせて♡
ごはん♡
仲間たちを助けるためにデザートコーラルにいるのよ
よろしくね ナオト♡
よろしく…
ふんふんっ
俺はアルト！術の心得もあるステキ剣士だ！
わ
ぱっ
ただし剣はイブ以下術は私の足元にも及ばず
……

あれ…？
あいつに似てる…
だれだっけ…
おいカーラ！人がしゃべってる途中だぞ!!
あーらごめんなさいでもホントの事でしょ
ねえアルトって兄弟いる？
むにー
ホホホホホ
……
ははは…
ああいるよかわいい妹が
へえアルトに妹がいるんだ？
ああ
言ってなかったっけ…

……
ほら次イブの番！なんか言えよイブ
……
あおい…
俺はいいい…
ははは悪いなナオト
あいつしゃべるの苦手なんだよいいやつなんだけどさ
……

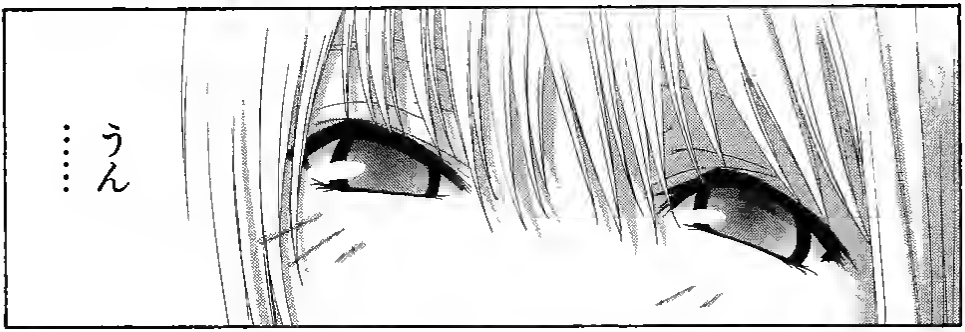
じゃあ最後に僕
さっきも言ったけどこのデザートコーラルのリーダー名前はロータス
……
君のことは一番よく知ってるよ…
僕は妹を捜している
妹の居場所を見つけるために
ナオト君の力が必要なんだ
知ってる
僕の大切な
妹の名は
妹の名は――……

ルシア――…
コーラル
あれ…？
き 消えちまった…!!
…まだつながりが安定してないんだ…
!

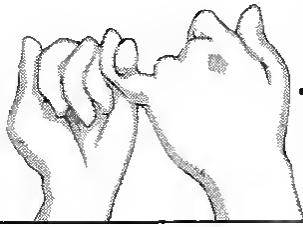
ちょっと…
つか…れた…
おい！
ばたっ
ロータス!!
大丈夫…
眠ってるだけみたいだ…
……
まだだ……
まだ目覚めない…
あともう少し…
そうだ いつも冒険の終わりにたどり着いてた場所があったんだ……
ロータスのいる砂漠のはるか上空
オルゴス上層部のある大きな城の一室…
オルゴスの世界で実体化せずふわふわした意識だけでただよっていた俺のことに唯一人気づいてくれたあの娘のところへ……！

ルシア！
俺！
ほーっ
あ
ナオト…
そうだった
一番最初に出会っていたんだ
ルシアとは――…

ああ 思い出した……
今日も
外の話を
してあげろよ
うん
ねえ
ルシア
ここを
出られたら
いつか…
――あの約束…

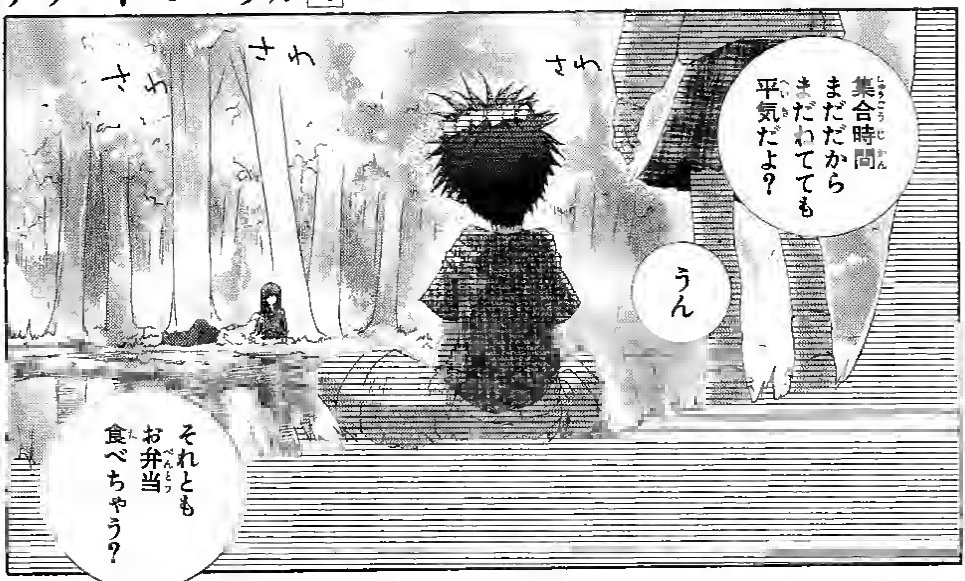


…ずっと…



…いっしょに…

んー…？
あれ…
涙…？
ごしごし
あ…ごめんちさと
俺また眠っちゃった
いいよ別に
しょうがないなぁ
ぽんぽん
直くん
さゅっ
またオルゴスの夢みてたんでしょ
うん
ぽんっ
あはは
今日は変なやついっぱい出てきた


さわ
さわ
さわ
集合時間
まだだから
まだいてても
平気だよ?
うん
それとも
お弁当
食べちゃう?

……
ねえ
その涙って
なんの涙
なの?
うれしい涙?
かなしい涙?

忘れていた…
……
――ルシアのあの時の…

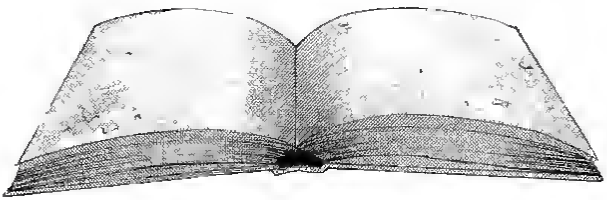
これからはずっと…！
あの言葉の続きは――
ずっといっしょだよナオト…

まだ続き見とく？

僕ももちょっと足しびれちゃったんだけど…

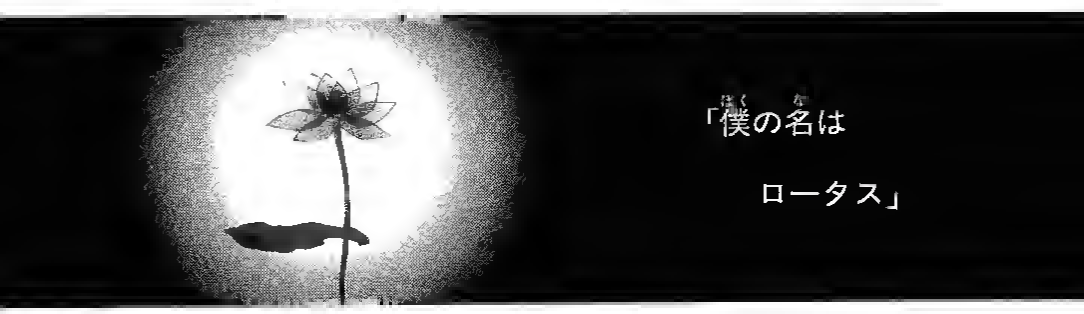
最初はこんなお話だった
どこかで聞いたことのあるような よくあるお話

ここことはちがう世界で
ある少年が悪者にさらわれた少女を助けにいくお話



その世界にはまだ名前はなく
悪者にさらわれた少女にもまだ名前はなく

だけど
少年はある日 こう言った



少年の名はロータスというらしい

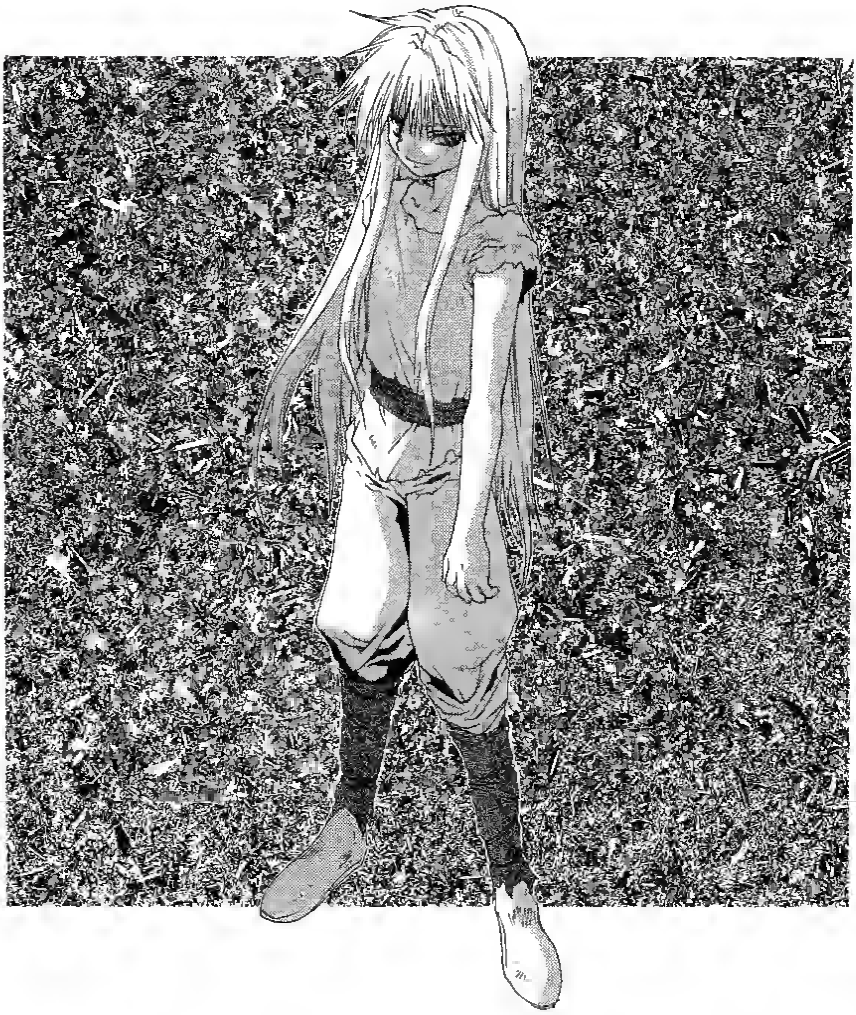
……

ゆっくりでいいから話してみてよ
君のみている夢の話
ナオくんナオくん
また眠っちゃってるの…？
うん…
ねえまた…
オルゴスの夢をみているの…？
ごめんねちさと…
ロータスが呼んでるんだ…
……小学生のころ夢でみていたんだ
あの世界を……

ロータスが俺を召喚してからその夢は…
本当に夢なのかそれとも現実なのかわからなくなるくらいリアルに変わった
眠りにつくと必ずたどりついたその世界では
俺は翼の生えた神サマで…
ロータスの言うとおり思い描くことはなんでも出来た
オルゴスには大事な友達たちがいて
毎日が楽しくて…
ずっとこっちの世界にいられたらって……
ごめんちさと…
それは夢であるはずなのに
夢であることを俺は忘れかけていたんだ

#19 Calling

「この世界は時空竜の神のみている夢」



そう
それはそのとおり
これは俺がみている夢の中の物語

でも現実世界よりも夢の中の世界の方がおもしろいんだ。

俺がロータスに召喚されてから
しばらくたったある日

そう たしかこの日が最後の日

俺は二度と
オルゴスには来ない
と誓う
ただいまー
なにも
心配する
ことはない
おまえ
たちは
帰れ
はあ…

我々
サンドダストの
魂は…
肉体の死と
同時にこの
偉大なる
砂漠に還る
のじゃ…
ゴホ
ゴホ
おまえたちの
言っていることは
まちがっておる…
この世界が
ただの夢などと…
そんなはずはない
…!
……
ぼー

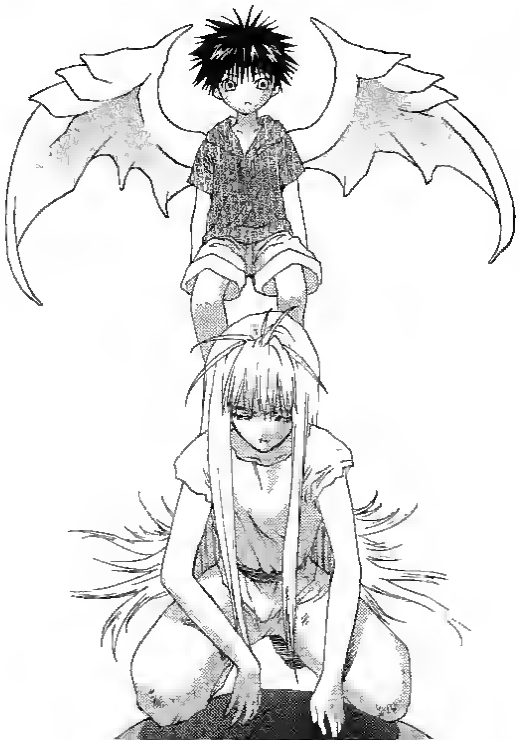
全て……
全て夢幻だというのか？この世界が…
そんなはずはない……!!
おろかなサンドダストよおまえはただ眠っているだけだ
いずれわかる日がくる…
……
この世界での死と同時に訪れるのはちがう世界での新たな目覚め
おまえはただ眠りについて夢をみているだけ…
死ねば砂にとけて消えてなくなるだけじゃ…
目覚めなど…
あるわけが…

おばあさん
苦しかったんだねこの世界での生は…
う…
ズル
うう…
この世界があなたにとって悪夢なのであれば…
早くこの悪夢から覚めればいい
おおお……
おお……

方法は
ひとつ
ロロロ
な…
邪魔を
してはダメよ
アルト
だけど
…!
これって
自分で
死ねって
ことだろ…!?
!

そろそろ潮時だロータス
いつまでもこんなこと続けていていいわけない…
もう充分かせいだはずだ…
ロータスの言うことは絶対の真実…
ロータスに従っていれば必ず幸せになれるわ
こんなのはおかしいよやっぱり…
……!!
ナオトを召喚してからロータスは変わってしまった
……

僕(ぼく)は
この砂漠(さばく)が
大嫌(だいきら)いだ



俺とロータスは 痛みや苦しみ あらゆる感覚を共有していた

ルシアとそうだったように

君は知ってるかもしれないけど…

僕の命は…

なんでもわかりあえるはず
だったのに……

この夜 話したことは今でもあいまいなまま
俺の中で眠り続けている

ナオト…

……

もう眠ってしまった…？
起きてる…
ここに生まれてきたこと自体うらめしく思っている
だけど
……
僕はこの世界が大嫌いだ
生まれてしまったことはもうどうしようもないことで
死んでしまうことも自分ではどうしようもないことで…

だからせめて……
こんな大嫌いな世界だけど…
それでも……
自分のものにしたい
いったい君は なにをしようとしてるの？
……
それは 俺に関係あること？
……
なに？
ねえロータス 君はなんで俺を……

僕は…
もうすぐ死んで
いなくなるわけ
だけど…

僕のいなくなった
後の この世界を
想像することが
出来ないんだ

こんなこと
考えるのは
変かな…？

…？

僕の死とともに
この世界も
消える…

それはこの世界を
自分のものにした
ということの証明

変…！
そんなこと
あるわけ
ないじゃん

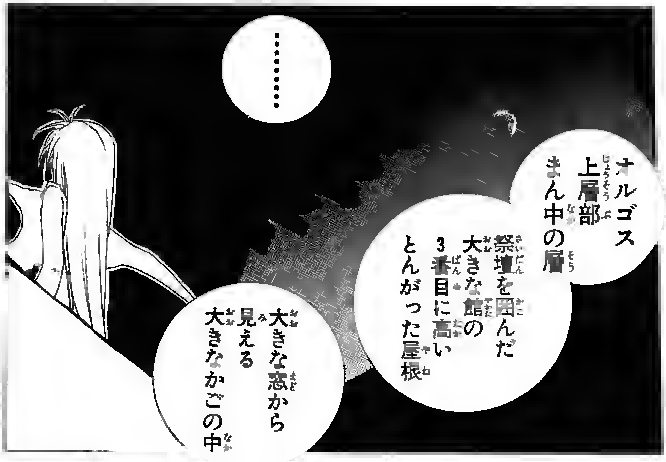
あはは
そーだよね
あるわけ
ないか
やっぱ…

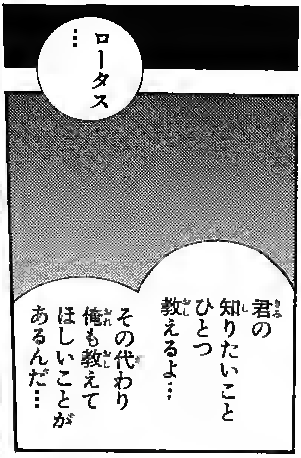
でも…

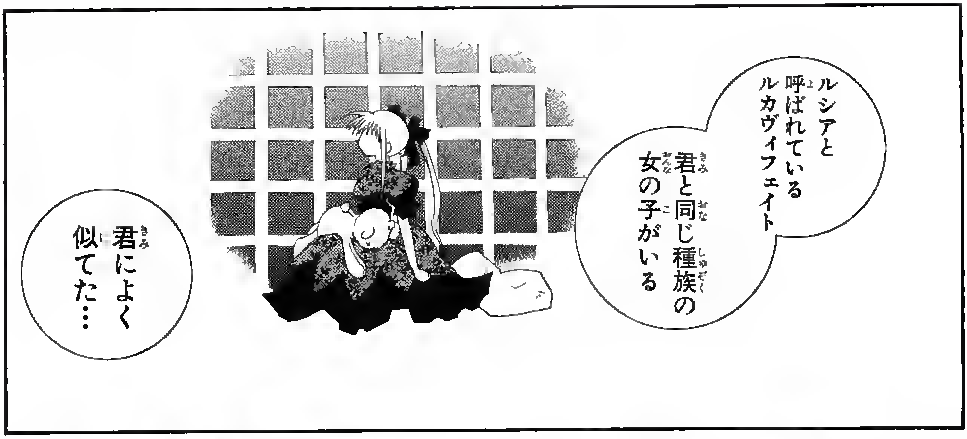
ロータスが
そう望むん
なら
きっと…

何
言ってるん
だろ
俺……

消滅する
ナオト…
僕とナオト
死ぬときは
いっしょだ
僕の魔力で
ここに存在
している君は
僕の力が尽きるのと
同時に――

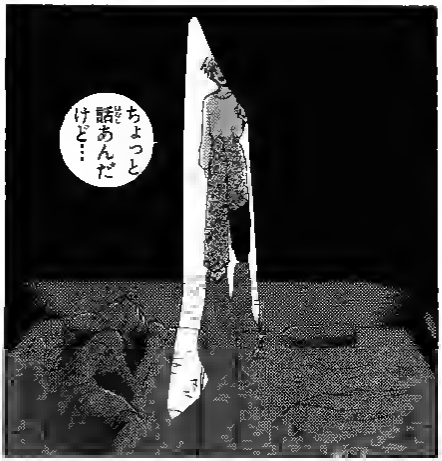

……
ナルゴス
上層部
まん中の層
祭壇を囲んだ
大きな館の
3番目に高い
とんがった屋根
大きな窓から
見える
大きなかごの中

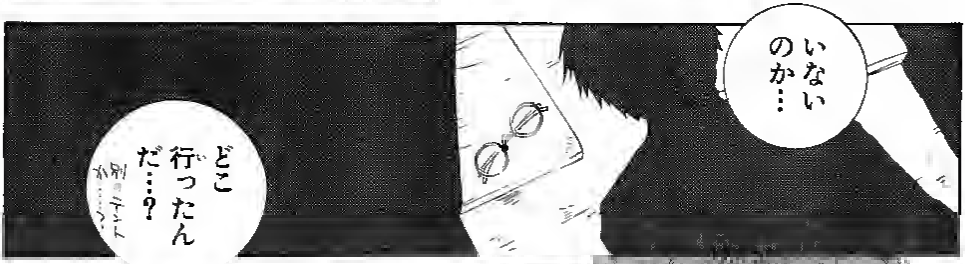

ロータス…
君の
知りたいこと
ひとつ
教えるよ…
その代わり
俺も教えて
ほしいことが
あるんだ…

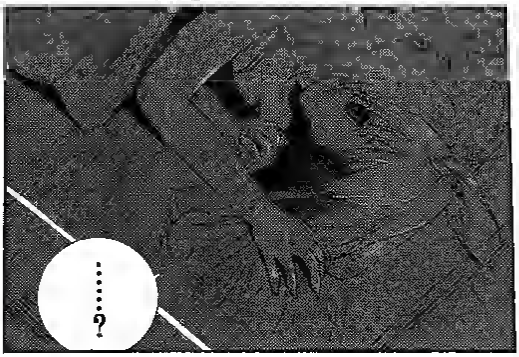

ルシアと
呼ばれている
ルカヴィフェイト
君と同じ種族の
女の子がいる
君によく
似てた…

…
コーラル
きっと
ロータスの
探してた
妹だ
その娘
が…
……
ありがとう
……
ナオト
次
俺の番…
俺のききたい
ことは……

カーラ
もう寝た？


ちょっと話あんだけど…

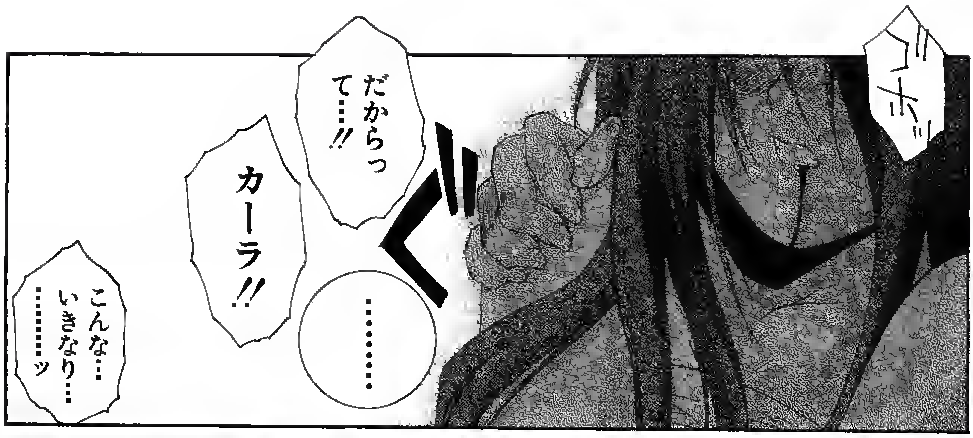

いないのか…
どこ行ったんだ…？


……？

嫌な予感がする…
…

こんなところでなにやってんだよ…？
カーラ…？
な…ッ
なにやってんだよ!!?
ばっ
じわ…
こ…
ない…で…
血…!?
おいってば…？

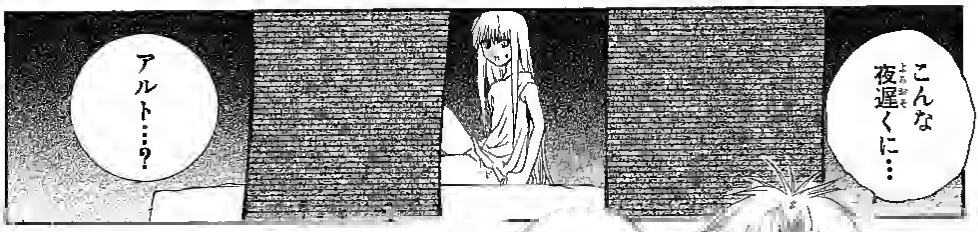
……ッ
う…
どくっ
どくっ
あの婆さん
みたいには
うまく死ね
なかったわ…
でも……
あともう
少し…
なんで
…ッ
なんで
こんなこと
……!!
私が…
サラムダラ
から離れた
理由…
追い
出された
理由…はね
私 邪■に
おかされてるの
隠してたけど…
耐えてきたけど
……
でももう
無理…
近いうちに
私の精神
まけて
邪陽に支配
されるの
わかってた
から…
いいの
これで
……
ありがと
アルト…

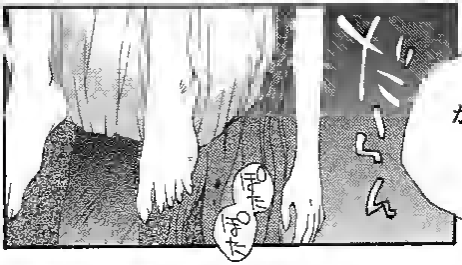


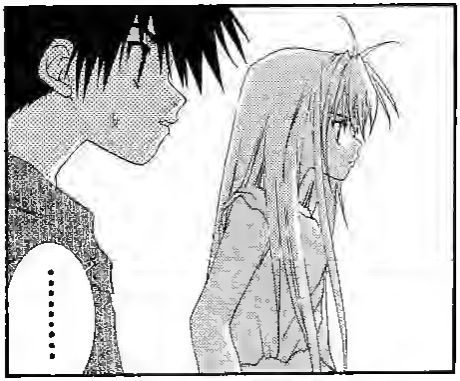
こんな悪夢は

早く終わらせるの……

ロータス…


こんな夜遅くに…
アルト…？


悪いんだけどさ……
カーラが…
ちらん

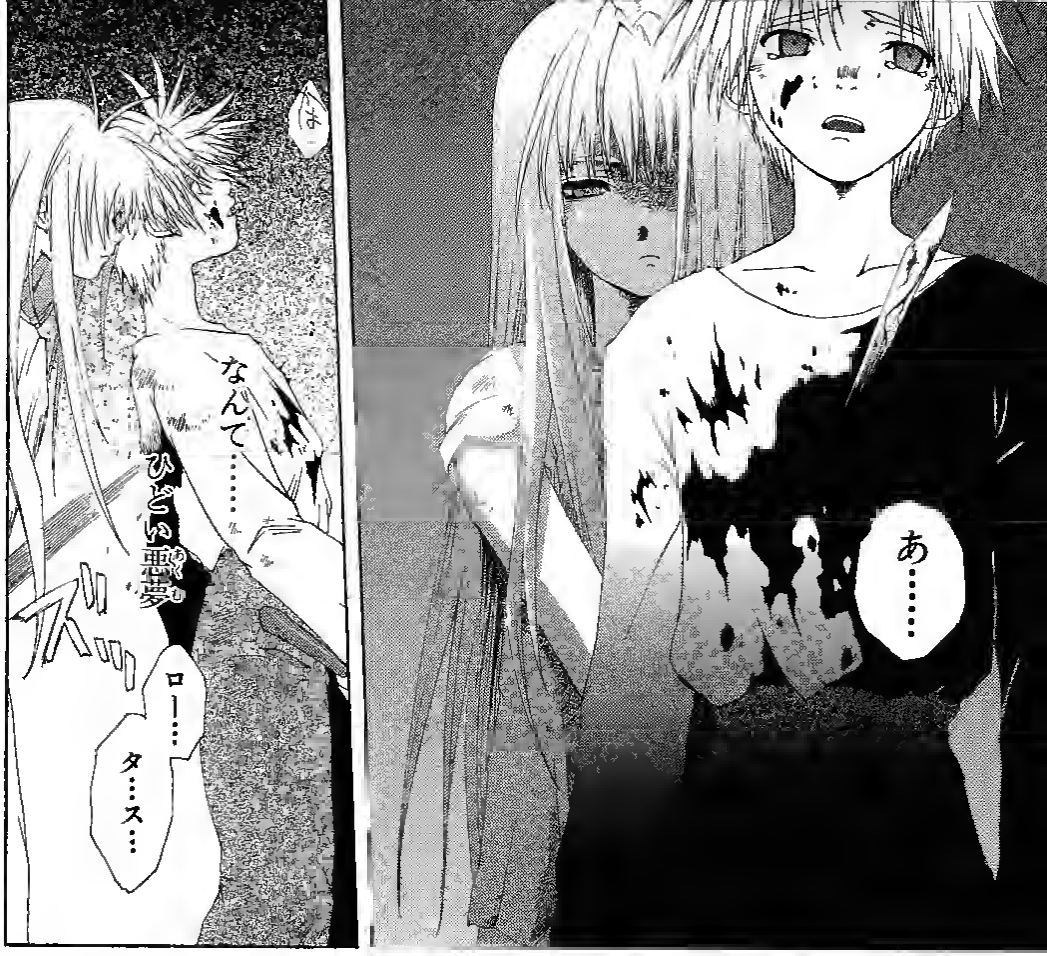

……

こんな……
悪夢……

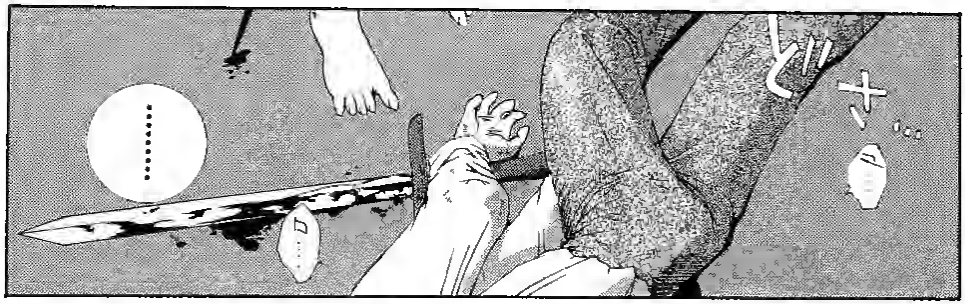
ナオト…
これがおまえのみている夢なら…
本当にそうなら…
カーラが死んだのはおまえのせいだ……
ナオト…
おまえが消えれば…
この悪夢も消える…？
おまえがいなければ…
最初からこんな悪夢は生まれなかった……？
こんな…
ストラ
悪夢のようなこんな世界は……ッ
やめろアルト！

消えてなくなれ!!
ナオト!!
!!
!!!

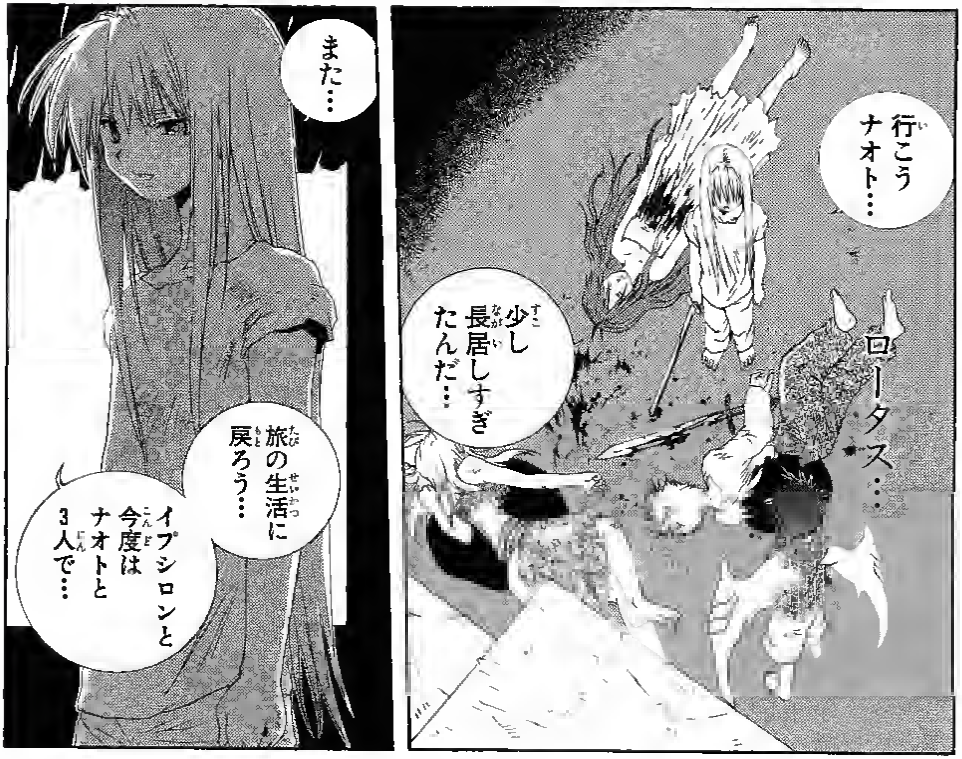
ヒュン
レク…
リア…？
なん…で…
は…
かは
う…
あ……
うわあああああああああああああああ


あ……
なんて……
ひどい悪夢
ロー…
タ…ス…

アルト
君の妹の名を
教えて…
もしも
会うことが
あったら
君のことを
伝えよう

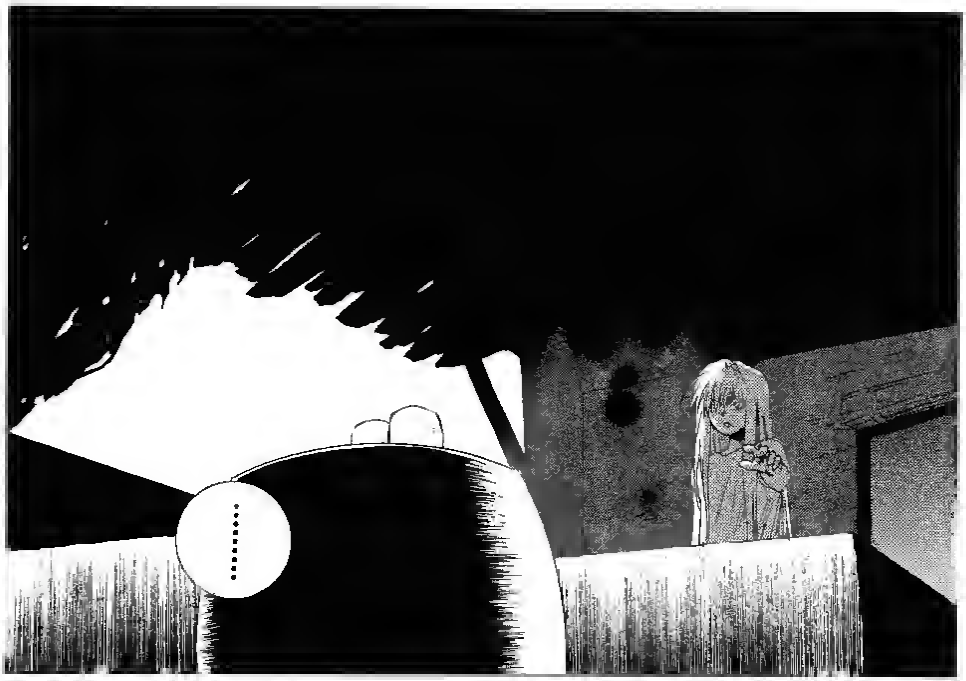

……

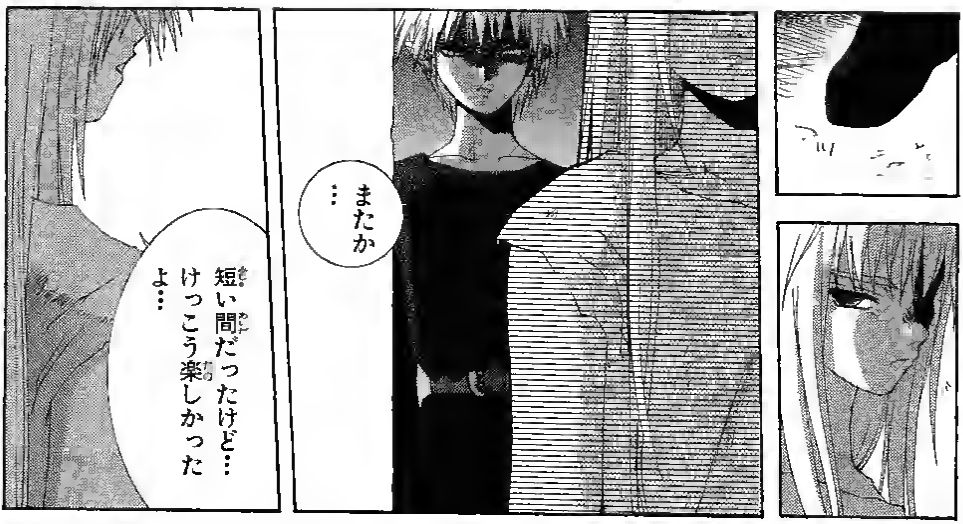
カーラ
レクリア
アルト
みんな…


また…
旅の生活に戻ろう…
イプシロンと今度はナオトと3人で…
行こうナオト…
ロータス…
少し長居しすぎたんだ…

みんなは家族みたいなものだって…
言ってたじゃないか…
ふる
ふる
こんなひどい悪夢なら……
俺はもう…

ナオト…
僕たちはずっと一緒だ死ぬまで
君がどんなに拒絶したとしても…
みない
もうなにも
みない
僕はこの命が尽きるまで
君を呼び続ける
もうここには来ない……
……さよなら





行こう
夜が明けぬうちに…

ロータスとは
それっきり…

結局(けっきょく)
俺(おれ)のききたかったこと…
きけずじまいだった

ねえ
ロータス
君(きみ)は
なんで…

俺(おれ)を
この世界(オルゴス)に
呼(よ)んだの？

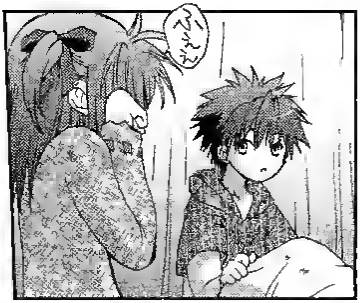
……意識(いしき)が
とぎれる…

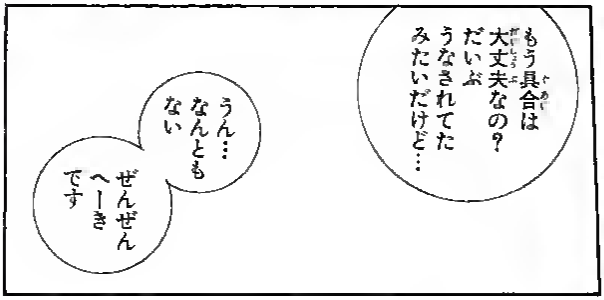
ちさと…？

ひっく
ふぇえん

やっと起きたわね崎くん
あ保健の先生ー
まったく女の子泣かせて悪い男ねぇ～

あんまりぐったりしてるもんだから教室から運んでもらったのよ
ひっく
担任の先生がかついでねあとでお礼言っときなさいね
あとちさとちゃんもずっとついててくれたのよ


ひぇえん

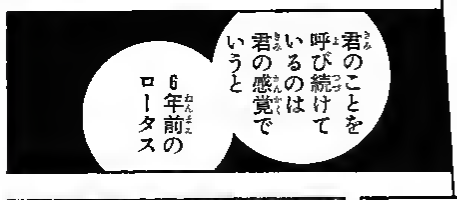

もう具合は大丈夫なの？だいぶうなされてたみたいだけど…
うん…なんともないぜんぜんへーきです

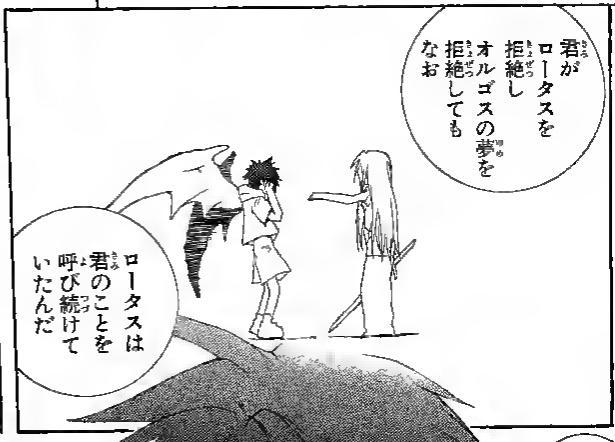
じゃあ気をつけてお帰りなさいね二人とも

はーい…

で
答えは？
……
しょーがないやつだな君は！
もーっ
なんでだよ!!
勝手に過去に連れてったんだろおまえが!!
ムリヤリ!!
あとは自分で気づくだけなのに！
ロータスは…
今でも俺のこと呼び続けている…？

#20 Discharge

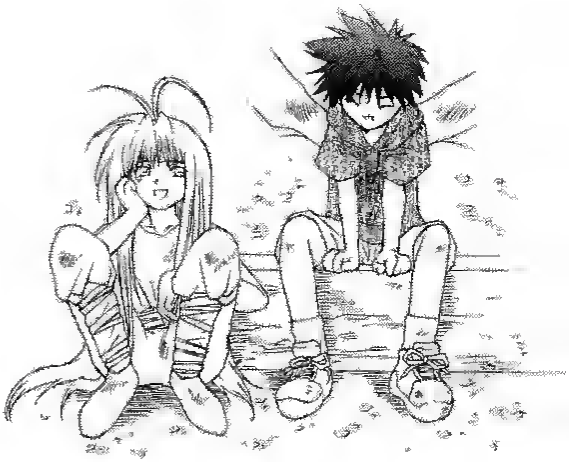




ロータスはルシアの居場所を捜していた

俺はそれをちゃんと伝えたんだ

「ロータス 君は…なんで」



再びまた俺を召喚しようとする？

で行くの行かないの？

そりゃ…行くしかないだろ

じゃあ…

君とはここでバイバイだね

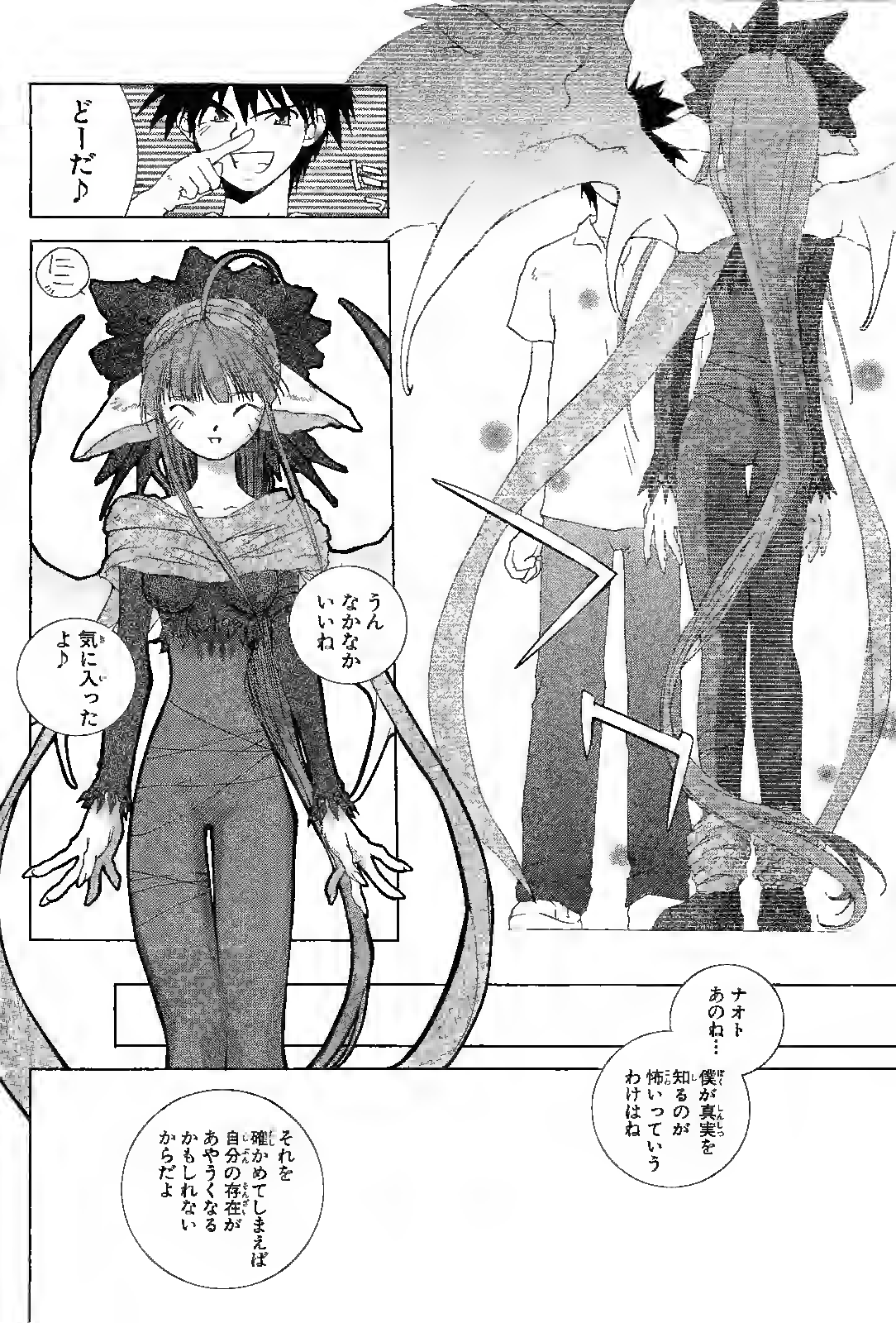
え…

ミイが連れてってくれるんじゃないのか…？
ふん
君ひとりでも行けるよ
行こうと思えばね
今までは美味本位でかってに害についてってただけ
ならまた一緒に…
正直 俺一人だと不安だし…
僕は行かない
行けない
怖いから
ロータスのもとへ行けばきっと真実を知ることになる
君はそれを知るのが怖くないの……？
？
怖い…？
知ってしまったらどうなるか考えたことはある？

ねえナオト
これでも
僕はね♪
君のこと
けっこう
気に入ってる
んだ
一緒にいて
楽しいと
思うよ♪
だから……
ロータスのところ
へは行かないで
僕と一緒に
いてくれないかな
ぽかん
……
なに
言ってんだ
よミイ
ここならなにも
不自由なことは
ないよ
危険もないし
そうだ
それとも二人で
いろんな世界を
旅しようか！
ね♪
あのな…
ちさとちゃんの
姿が見あきちゃった
なら
また別のに
変身するわよ♪
ポン♪
♪ルシア
それとも
ユーロ？
ポカッ
わッ!?
いったーッ
すまん
こぶキが…

どういうつもりか知らんがそんなに俺をひきとめたいんならなぁ
まずはちゃんとお前本当の姿を見せろ！
ちさとかの姿やめろ！
む……
ぺたん
僕の本当の姿なんて忘れちゃった
僕はずっと一人だったんだ誰も僕の本当の姿なんて知らないし
あの姿だって…
誰かの記憶の中から拝借してるだけさ
ミイ…
あはは♪その名前実はねすっごくうれしいんだ…

僕には名前もなかったから…
こまらせてごめんよ
君がなにか僕の姿を想像してくれればその姿になるよ
わかった
まかせろ


どーだ♪
(三)
うん なかなか いいね
気に入った よ♪
ナオト あのね…
僕が真実を 知るのが 怖いっていう わけはね
それを 確かめてしまえば 自分の存在が あやうくなる かもしれない からだよ

もしかしたら
消滅してしまう
かもしれない
どういう
ことなんだ…？
それって…
もしもの話…
な……
……
君の記憶を
たどっていて
気づいたんだ
もしも
オルゴスの世界が
君ではなく
ロータスのみている
夢だとしたら
トクン
なにを……？
僕は…
僕が死んだ
あとの
この世界を――……
トクン

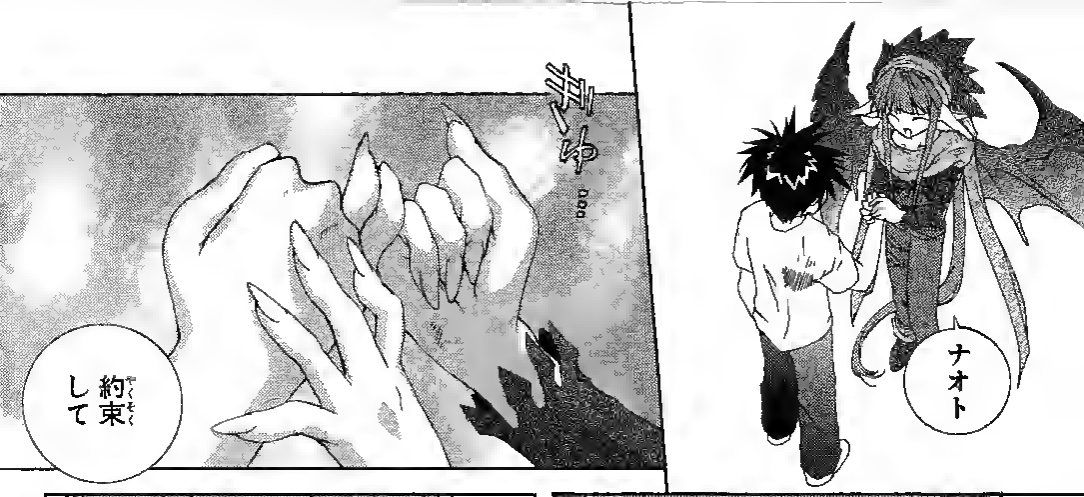
想像(そうぞう)することができないんだ……
オルゴスは確(たし)かに君(きみ)のみている夢(ゆめ)の世界(せかい)だった
ロータスが君(きみ)の夢(ゆめ)の中(なか)に現(あらわ)れるまではね
ロータスがのっとったのさ
……
だけどロータスはもう……
死(し)んでるはずじゃ…
まだ生(い)きてる……？
ドクン

でも
君がオルゴスを
拒絶し 夢を
みなくなった後も
その世界は存在
し続けている…
君の代わりに
オルゴスを
夢みはじめ
たんだ
いや
まだ……
……
ただの
仮説さ
本当は
ちがうかも
しれないし
あってるかも
しれない
〝現実〟なのか
〝夢〟なのか
今まで
考えもしな
かった?
まさか自分が
だれかのみている
夢の中の登場人物
かもしれない
なんてね…
君があんなに
帰りたがっていた
〝現実世界〟も
今ではもう
わかんなくなって
るんでしょ?
自分の思考も感情も
大切な思い出すらも
誰かがテキトーに
作りあげたニセモノ
夢なのはどっち?
〝現実世界〟?
〝オルゴス〟?
それとも両方とも
幻だったか…
誰かが
テキトーに
そう設定
しただけ…

僕がそう
設定したん
だから……

ナオト
一番幸せ
なのは
なにも知らない
ことだ…
これが誰の夢か
なんて
知らない方が
いいんだ
その誰かが
目覚めたら
僕たちは
消えてしまう
なんて…
そんなの
……

……
でも
いつか
は…
いつかは
目を覚ます
時が
くるんだ
どうしても…
行く気
なんだね…
ロータスの
もとへ…

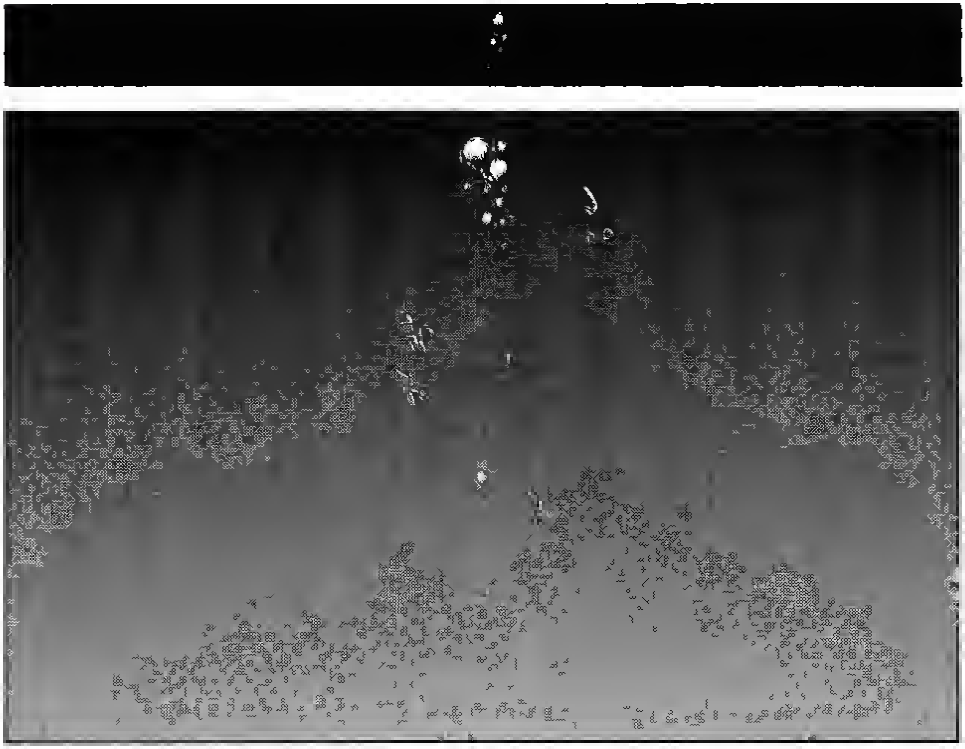


……
それとね
もうひとつ

ナオトが
自分の世界を
とり戻して
夢から覚めたら…

もう一度
僕のこと
思い出してね

バイバイ
ナオト……



まだ…
ナオトは
消えてない
このオルゴスから…
感じる
まだナオトと
つながってること
……
流れてくる
ナオトの感情
思考 記憶
……
ものすごい速さで
私の中に流れてくる……

第1話

命の灯のかぼそき者よ…
最後の試練耐えられるかその体で…？
おまえの中に眠る邪悪なる者の魂にうち勝つ自信があるか…？
！
…ッ
う…
また…私の中にいるもう一人の私が苦しんでる…サラムドのときと同じ…
あのときはナオトがいてくれたから大丈夫だったけど……

そうだ…

あの日だって…

ナオトがいてくれたんだ…

なら召喚すればいい

ナオトが必要なら最後の力で

「！」

ううん一人でがんばらなきゃ…！

だってナオトには ちゃんと帰るとこがあるんだもん…ッ

ここは ちがう他の世界が……

ドクン

ナオトを呼ぶんだコーラル…！

さあ早く…！

私…ッ

私の名前はルシア コーラルじゃない

あなたは誰なの…？

思い出してコーラル…
あの日…
僕が死んだ日に君は
ルカヴィフェイトとしての力を
覚醒させたんだ

6

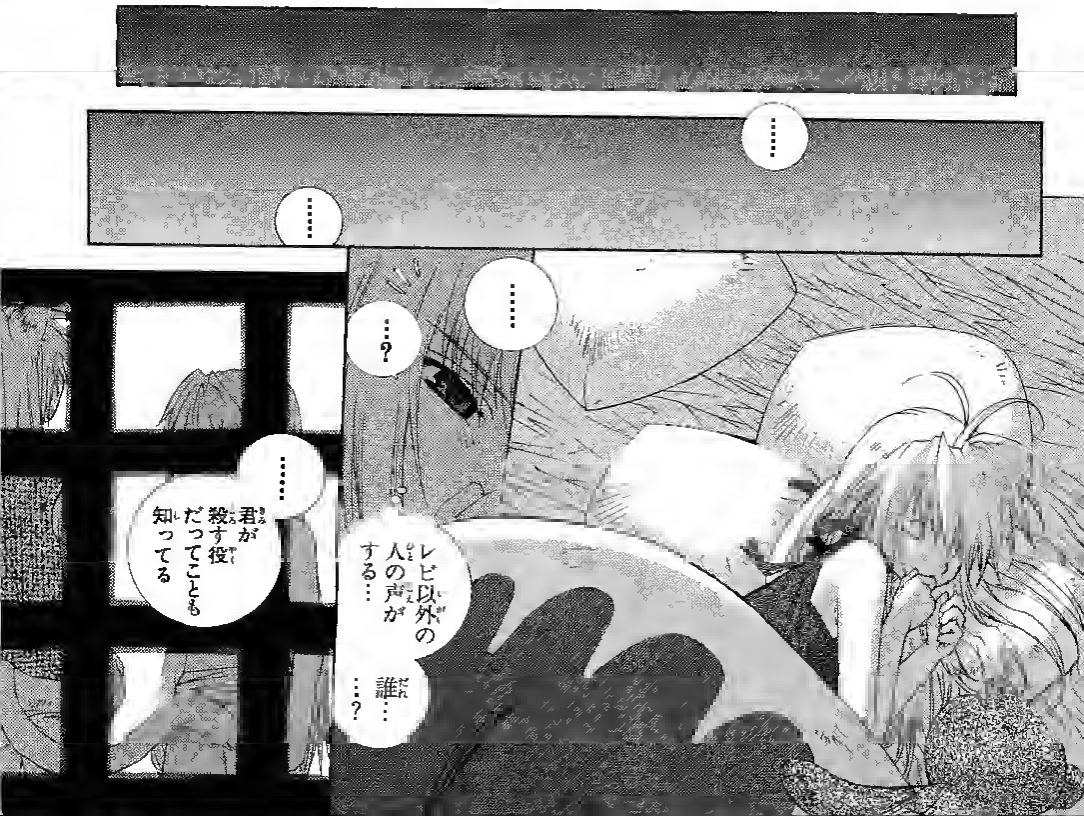
覚えてるよ…

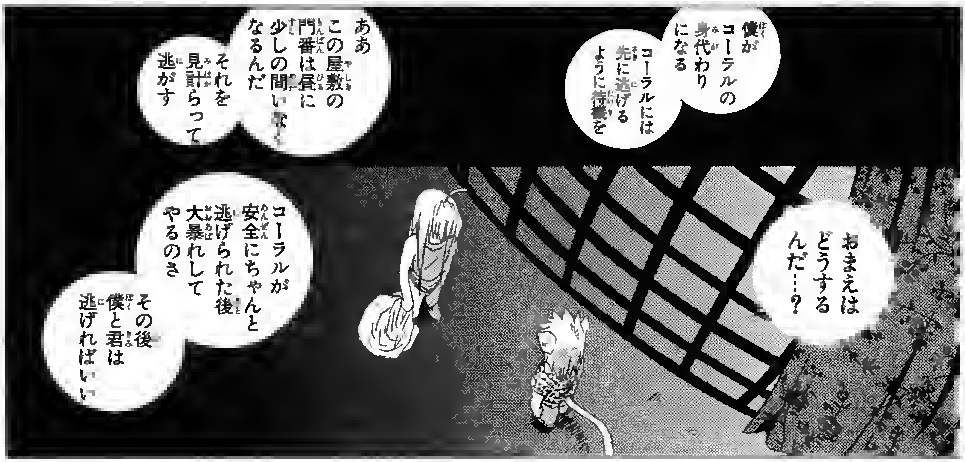
あの日
初めて外に出た日

あの日
初めてナオトに
だきしめてもらえた日

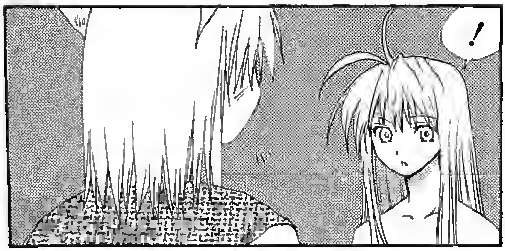
あの日
……初めて
力を覚醒させた日

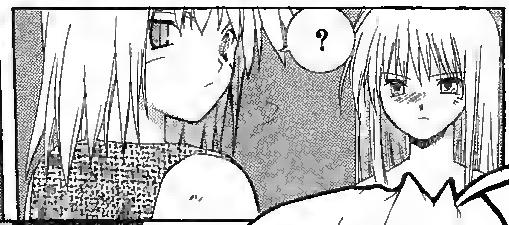
……




おまえはどうするんだ…？
僕がコーラルの身代わりになる
コーラルには先に逃げるように待機を
ああこの屋敷の門番は僕に少しの間いなくなるんだ
それを見計らって逃がす
コーラルが安全にちゃんと逃げられた後大暴れしてやるのさ
その後僕と君は逃げればいい

ルシア…


！


？

私、コーラルなんて名前じゃない
きっと
コーラル…

ずっと…
ずっと探していたんだよコーラル…
やっと会えたね
や！
なんだか…怖い…！
ばっ
……
ガラガラ
ルシア ほらおまえの兄ちゃんだってさ助けにきてくれたんだ
……
ナオトが教えてくれたんだ
！
ひし
ナオト…？

もう一度…

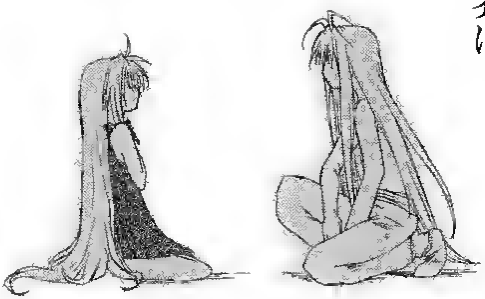
最後に
もう一度

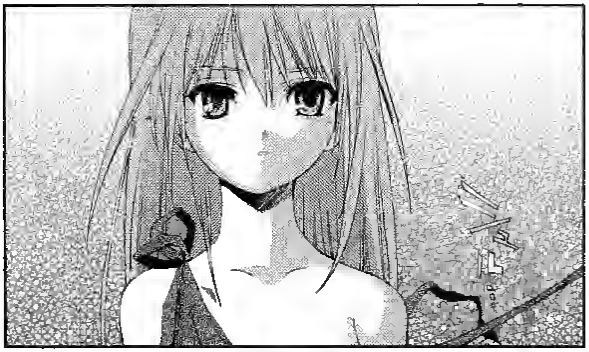
ナオトを召喚する
そして……

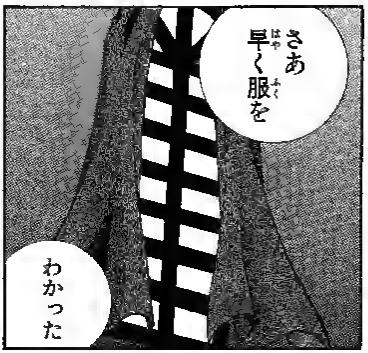
この世界全てを
新しく創りかえ
るんだ……

コーラル
君が幸せに
暮らせる
世界に…

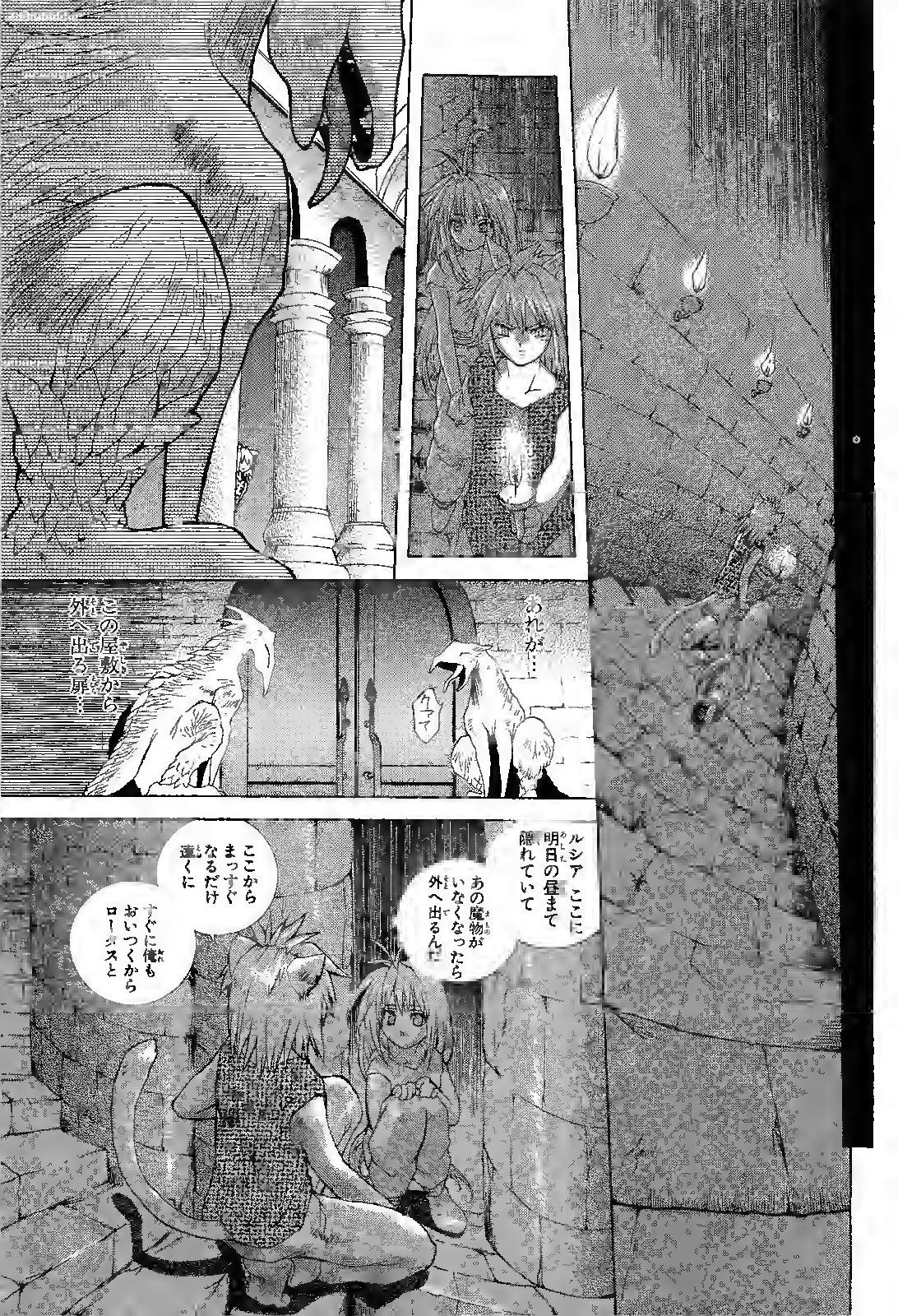
だから……







コーラル
どうか僕の魂を
受け入れてくれ


ルシア ここに
明日の昼まで
隠れていて
あの魔物が
いなくなったら
外へ出るん!!
ここから
まっすぐ
なるだけ
遠くに
すぐに俺も
おいつくから
ローズスと
この屋敷から
外へ出ろ 扉…
あれが…
タマ…

きゅ
レビ
行っちゃ
や！
ルシア
…
大丈夫 昼まで
おとなしくしてれば
大丈夫だから…
こわいよ
行かないで
レビ
大丈夫
眠っていれば
すぐ時間たつ
から…
レビ
…
聞いて
レビ
俺はやらなきゃ
いけない仕事が
あるから…
行かなきゃ
あのね
いい子に
してくれな…
私の体
おかしいの

あのね レビ
まだうまく
しゃべれないん
だけど
あのね…
じゃあ
ナニ?
あう…
体が熱いの。
力があふれてきて
爆発しそう。
ハナ
ナオト
たすけて…!!
ナオト…
……

光…
う…
もう朝…？
昼……？
……苦しいよオ…
うう
ぐ…
なんで
こんな…
う…
あ
あああ
あああ
あ…!!
!?

ゴゴゴゴゴゴ
ドクン
……！
ビシ
!?
ドクン
ドクン
コーラル
……！
コーラルの
ルカヴィフェイト
としての血が
覚醒しようと
してるんだ…！

ドゴォォォ
イヤ
!?
ルシア…
……!!?
ダッ
ドクン
ドクン
ドクン

……
どこから迷いこんだ？
それともここんちのペットか？
いずれにせよ死刑は確定よ

!!?
な…ッ
力が…
あ…
あ…
暴発する…!!
なんて力よこの娘…!!
ああああああッ
ビキ
ビキ
ビキ
ボコッ
ボコボコ
しめた
かせが外せる
!!

こ…のッ
死ね(し)!!
コーラル!!
ばっ
だめだ…!! まにあわない!!
これが最後だ
たのむ…ナオト

デザート・コーラル4　おわり

Desert
Oasis

デザート・コーラル ④

2004年1月10日初版発行

■著 者
村山 渉
©Wataru Murayama 2004
■発行人
宮本幸則

■発行所
株式会社マッグガーデン

〒101-8434 東京都千代田区神田神保町2-1 岩波神保町ビル6F
(編集) TEL:03-3515-3872 FAX:03-3262-5557
(営業) TEL:03-3515-3871 FAX:03-3262-3436

■印刷所
株式会社廣済堂

■装 幀
VOLARE inc.

初出／月刊コミックブレイド03年7月号～11月号

無断転載・上演・上映・放送を禁じます。
乱丁・落丁本はお取り替えいたします。
但し古書店で購入したものはお取り替えできません。
定価は表紙カバーに表示してあります。

ISBN4-86127-002-2 C9979

Printed in japan

本作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件等には一切関係ありません。

DESERT CORAL 4 Wataru Murayama